

第 1 回健康あだち 2 1 専門部会報告資料

令和 2 年 7 月

件 名	令和元年度長寿健康増進事業の実施結果について																																								
所管部課	区民部 高齢医療・年金課																																								
内 容	<p>1 目的 後期高齢者医療制度の被保険者が趣味や生きがいを持ち、仲間づくりを進めて心身ともに健康な状態で生活することをめざす。</p> <p>2 実施期間・場所 令和元年 10 月 1 日から令和 2 年 2 月 14 日まで 各地域学習センター（指定管理者に委託して実施）</p> <p>3 実施内容 (1) 講座数 43 講座（前年度比 + 1 講座、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となった 2 講座を除く） (2) 募集人数 773 名（前年度比 + 16 名） (3) 参加人数 698 名（前年度比 + 17 名） (4) 参加率 90.3%（前年度比 + 0.3 ポイント）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>講座 v 種別</th> <th>講座数</th> <th>募集人数</th> <th>参加人数</th> <th>参加率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>料理</td> <td>3</td> <td>48</td> <td>44</td> <td>91.7</td> </tr> <tr> <td>パソコン</td> <td>2</td> <td>36</td> <td>33</td> <td>91.7</td> </tr> <tr> <td>お笑い</td> <td>3</td> <td>80</td> <td>78</td> <td>97.5</td> </tr> <tr> <td>花</td> <td>7</td> <td>110</td> <td>110</td> <td>100.0</td> </tr> <tr> <td>趣味</td> <td>17</td> <td>298</td> <td>237</td> <td>79.5</td> </tr> <tr> <td>体操・健康</td> <td>11</td> <td>201</td> <td>196</td> <td>97.5</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>43</td> <td>773</td> <td>698</td> <td>90.3</td> </tr> </tbody> </table> <p>4 実施結果(アンケート結果等) (1) 講座を知った方法 ・ あだち広報、ホームページ 44.8% ・ センター作成のポスター・センターチラシ、ミニコミ紙 37.8%</p>	講座 v 種別	講座数	募集人数	参加人数	参加率	料理	3	48	44	91.7	パソコン	2	36	33	91.7	お笑い	3	80	78	97.5	花	7	110	110	100.0	趣味	17	298	237	79.5	体操・健康	11	201	196	97.5	合 計	43	773	698	90.3
講座 v 種別	講座数	募集人数	参加人数	参加率																																					
料理	3	48	44	91.7																																					
パソコン	2	36	33	91.7																																					
お笑い	3	80	78	97.5																																					
花	7	110	110	100.0																																					
趣味	17	298	237	79.5																																					
体操・健康	11	201	196	97.5																																					
合 計	43	773	698	90.3																																					

(2) 性別・年代別

- ・ 男性 17.1% (平成30年度 12.1%)
女性 82.9% (平成30年度 87.9%)
- ・ 75歳～79歳 48.8%
80歳～84歳 37.1%

(3) 新規の講座参加者 39.9%

(4) 参加率が高かった事業(100%超) 6事業

- ・ 体操・健康
(歌って楽しく音楽脳トレ、いきいき長寿そろばんで脳トレ)
..... 2事業
- ・ 趣味
(シニアのためのやさしい陶芸、年忘れクラシックコンサート、お正月のしめ縄アレンジメント)
..... 3事業
- ・ お笑い(笑って健康!新春江北寄席2020)
..... 1事業

(5) 参加率が低かった事業(50%未満) 2事業

- ・ 趣味
(写真家・鈴木心カメラワークショップ 撮った日が記念日、パラスポーツメッセンジャーが語る老若男女で楽しめるサッカーと共生社会)
..... 2事業

【理由】

- ・ 写真家・鈴木心カメラワークショップ 撮った日が記念日
持ち物として一眼レフカメラを持参することが参加条件だったため参加者が集まらなかった。
- ・ パラスポーツメッセンジャーが語る老若男女で楽しめるサッカーと共生社会
講座のタイトルや内容が分かりにくく、思った以上に申し込みが伸びなかった。

(6) アンケート結果では、講座参加理由について、「講座の内容に興味があった」、「新しい趣味を増やしたかった」等の意見があり、高齢者が活動できる場づくりや生きがいをもつ高齢者を増やす一助となっている。

第 1 回健康あだち 2 1 専門部会報告資料

令和 2 年 7 月

件 名	国民健康保険の医療費と特定健診受診者のヘモグロビン A 1 c 検査結果について
所管部課	衛生部データヘルス推進課
内 容	<p>足立区国民健康保険における疾病別費用額と令和元年度に実施した特定健診受診者のヘモグロビン A 1 c 検査の状況を報告する。</p> <p>1 令和元年 5 月疾病別費用額（資料 2 - 1） K D B システム（国保データベースシステム）に登録された診療報酬明細書を集計し、費用額上位 2 0 位までをリストアップした（歯科除く）。</p> <p>（ 1 ）費用額上位 1 位 腎不全 2 位 糖尿病 3 位 その他の心疾患</p> <p>（ 2 ）件数上位 1 位 高血圧性疾患 2 位 糖尿病 3 位 その他の眼及び付属器の疾患</p> <p>2 令和元年度特定健診受診者の HbA1c 検査結果（資料 2 - 2） 受診者のうち、ヘモグロビン A 1 c の値が 7.0 以上の方は、2,491 人で、全体の約 5.5%であった。 このうち、糖尿病治療中の方は 1,773 人、糖尿病治療は受けていないが高血圧・脂質異常症の治療を受けている方は 404 人、いずれの治療も受けていない方は 314 人であった。</p> <p>3 糖尿病性腎症重症化予防事業 糖尿病でかつ腎機能が低下しており人工透析の予備群に該当する方に保健指導を行う事業である。</p> <p>対象者：前年度特定健診受診者で以下の条件を満たす方 ヘモグロビン A 1 c 7.0%以上 40 歳～69 歳 尿蛋白（+）以上または eGFR30 以上 60 未満 糖尿病治療中の者</p> <p>令和元年度 実施数 13 人 （平成 3 0 年度 26 人）</p>

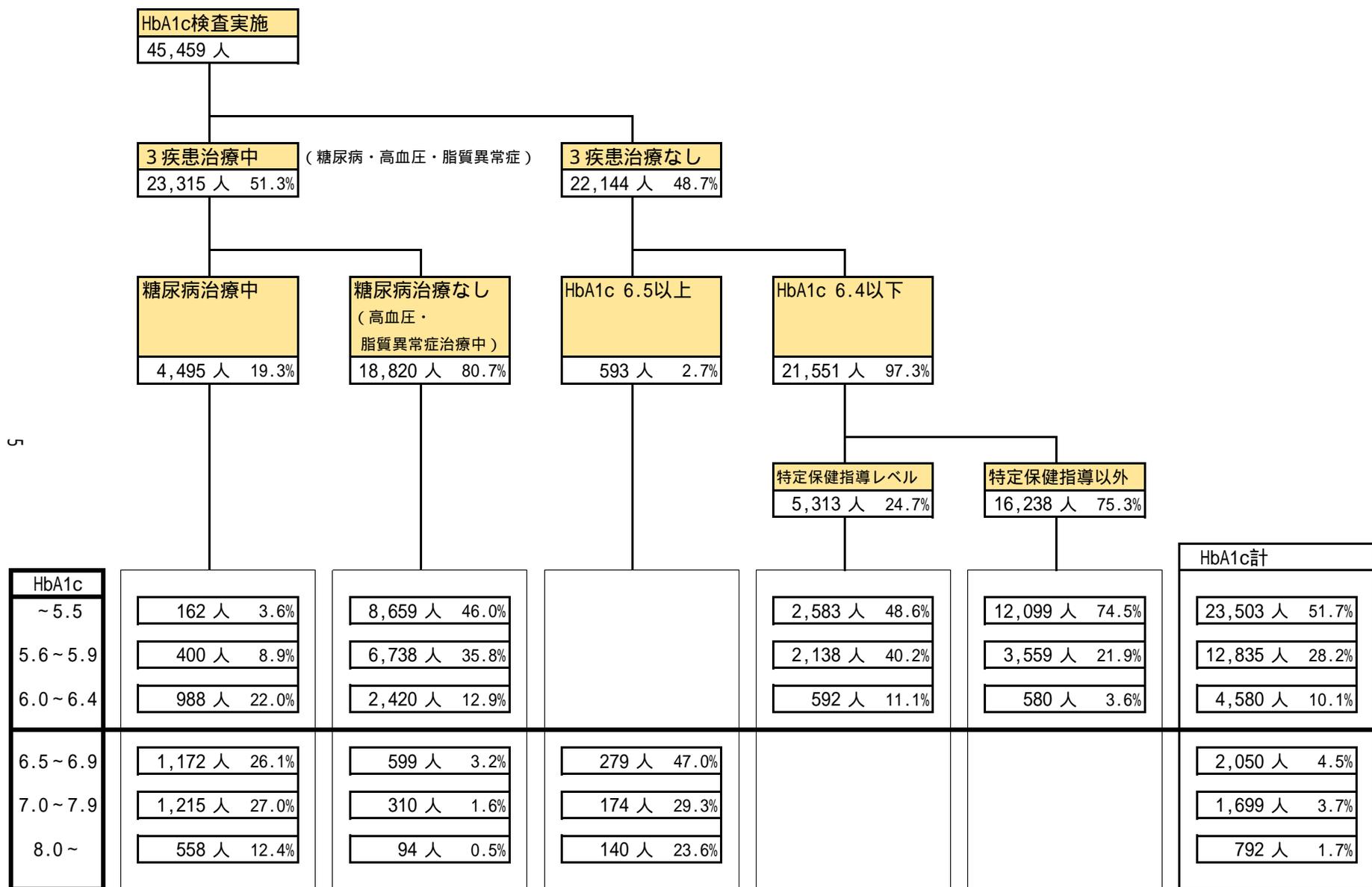
令和元年5月における疾病中分類別費用額（疾病別費用額計上位20）

単位：（円）

疾病中分類	費用額	件数	1件当たり費用額
1 腎不全	368,506,270	1,036	355,701
2 糖尿病	229,268,220	7,384	31,049
3 その他の心疾患	221,602,170	2,371	93,464
4 その他の悪性新生物＜腫瘍＞	208,236,950	960	216,913
5 高血圧性疾患	139,745,270	10,372	13,473
6 その他の消化器系の疾患	134,787,250	2,990	45,079
7 統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	125,586,240	1,840	68,253
8 気管、気管支及び肺の悪性新生物＜腫瘍＞	107,004,210	249	429,736
9 その他の神経系の疾患	105,398,120	3,559	29,615
10 その他の眼及び付属器の疾患	104,879,010	6,389	16,416
11 脂質異常症	89,443,800	6,033	14,826
12 気分（感情）障害（躁うつ病を含む）	84,333,770	2,542	33,176
13 虚血性心疾患	82,095,550	1,036	79,243
14 関節症	71,171,780	2,356	30,209
15 脊椎障害（脊椎症を含む）	70,345,330	1,758	40,014
16 喘息	68,585,370	3,023	22,688
17 骨折	65,131,540	684	95,222
18 その他の筋骨格系及び結合組織の疾患	63,947,320	1,284	49,803
19 その他の呼吸器系の疾患	60,534,070	446	135,727
20 炎症性多発性関節障害	57,208,830	1,023	55,923
	4,001,312,760	107,565	37,199

- * K D Bシステムの「疾病別医療費分析（中分類）」メニューより令和元年7月作成分（5月診療分）を抽出したデータから算出。
 （令和元年度に特定健診・特定保健指導支援システムが改修されたことにより従来のデータ抽出ができなくなったため集計方法が異なる）
 * 集計されるレセプトデータは、医科入院、医科外来、調剤であり、歯科レセプトは含まない。
 * 費用額とは、診療報酬点数1点を10円として計算した額であり、保険者負担と被保険者負担の総額を指す。
 * 腎不全には、人工透析が必要な腎不全が含まれる。

令和元年度特定健診受診者におけるヘモグロビンA1c (HbA1c) 検査結果の状況 (令和2年6月23日時点)



5

第 1 回健康あだち 2 1 専門部会報告資料

令和 2 年 7 月

件 名	成人歯科健診及び後期高齢者歯科健診の実施結果について																																																																																								
所管部課	区民部高齢医療・年金課、衛生部データヘルス推進課																																																																																								
内 容	<p>1 成人歯科健診受診状況</p> <p>歯周病予防を推進し、口腔状態の改善と健康維持増進を図るため、20歳から70歳まで5歳毎に歯科健診を実施している。また、平成29年度から歯科医療機関において妊婦歯科健診を実施している。</p> <p>(1) 令和元年度成人歯科健診受診者数(人)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分 年度</th> <th rowspan="2">合計</th> <th colspan="3">内訳</th> </tr> <tr> <th>成人</th> <th>妊婦</th> <th>糖尿病連携</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>29</td> <td>5,118</td> <td>4,192</td> <td>922</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>30</td> <td>5,783</td> <td>4,588</td> <td>1,188</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>元</td> <td>5,679</td> <td>4,507</td> <td>1,169</td> <td>3</td> </tr> </tbody> </table> <p>いずれも令和2年3月31日現在の実績</p> <p><参考> 令和元年度年齢別内訳及び30年度受診率</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年齢(歳)</th> <th>対象者数(人)</th> <th>受診者数 (妊婦含む)</th> <th>受診率(%)</th> <th>【参考】 H30受診率(%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>20</td><td>6,341</td><td>242</td><td>3.8%</td><td>4.5%</td></tr> <tr><td>25</td><td>9,087</td><td>318</td><td>3.5%</td><td>3.8%</td></tr> <tr><td>30</td><td>8,320</td><td>418</td><td>5.0%</td><td>6.0%</td></tr> <tr><td>35</td><td>8,833</td><td>498</td><td>5.6%</td><td>6.0%</td></tr> <tr><td>40</td><td>9,445</td><td>594</td><td>6.3%</td><td>7.9%</td></tr> <tr><td>45</td><td>11,305</td><td>418</td><td>3.7%</td><td>3.8%</td></tr> <tr><td>50</td><td>11,643</td><td>625</td><td>5.4%</td><td>5.5%</td></tr> <tr><td>55</td><td>9,910</td><td>402</td><td>4.1%</td><td>3.7%</td></tr> <tr><td>60</td><td>7,577</td><td>545</td><td>7.2%</td><td>5.3%</td></tr> <tr><td>65</td><td>6,916</td><td>344</td><td>5.0%</td><td>4.1%</td></tr> <tr><td>70</td><td>9,367</td><td>335</td><td>3.6%</td><td>2.8%</td></tr> <tr> <td>合計</td> <td>98,744</td> <td>4,739</td> <td>4.8%</td> <td>4.9%</td> </tr> </tbody> </table> <p>元年度 その他の年齢の受診者：妊婦 937 件、糖尿病連携 3 件</p>	区分 年度	合計	内訳			成人	妊婦	糖尿病連携	29	5,118	4,192	922	4	30	5,783	4,588	1,188	7	元	5,679	4,507	1,169	3	年齢(歳)	対象者数(人)	受診者数 (妊婦含む)	受診率(%)	【参考】 H30受診率(%)	20	6,341	242	3.8%	4.5%	25	9,087	318	3.5%	3.8%	30	8,320	418	5.0%	6.0%	35	8,833	498	5.6%	6.0%	40	9,445	594	6.3%	7.9%	45	11,305	418	3.7%	3.8%	50	11,643	625	5.4%	5.5%	55	9,910	402	4.1%	3.7%	60	7,577	545	7.2%	5.3%	65	6,916	344	5.0%	4.1%	70	9,367	335	3.6%	2.8%	合計	98,744	4,739	4.8%	4.9%
	区分 年度			合計	内訳																																																																																				
		成人	妊婦		糖尿病連携																																																																																				
	29	5,118	4,192	922	4																																																																																				
	30	5,783	4,588	1,188	7																																																																																				
	元	5,679	4,507	1,169	3																																																																																				
	年齢(歳)	対象者数(人)	受診者数 (妊婦含む)	受診率(%)	【参考】 H30受診率(%)																																																																																				
	20	6,341	242	3.8%	4.5%																																																																																				
	25	9,087	318	3.5%	3.8%																																																																																				
	30	8,320	418	5.0%	6.0%																																																																																				
35	8,833	498	5.6%	6.0%																																																																																					
40	9,445	594	6.3%	7.9%																																																																																					
45	11,305	418	3.7%	3.8%																																																																																					
50	11,643	625	5.4%	5.5%																																																																																					
55	9,910	402	4.1%	3.7%																																																																																					
60	7,577	545	7.2%	5.3%																																																																																					
65	6,916	344	5.0%	4.1%																																																																																					
70	9,367	335	3.6%	2.8%																																																																																					
合計	98,744	4,739	4.8%	4.9%																																																																																					

(2) 令和元年度成人歯科健診結果【歯肉の状況】

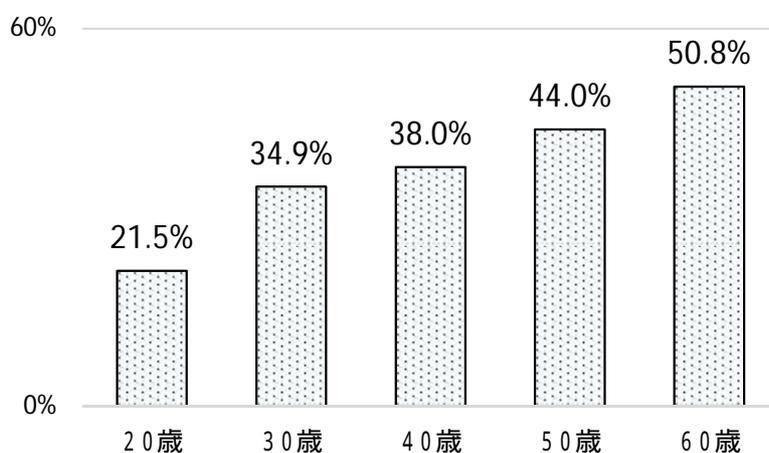
29年度から、歯周病チェックがCPI-modifiedに変更となった。(人)

区分 年度	受診者数	歯肉の状態 (PD 最大値)			出血 (BOP)		
		*0	*1	*2	なし	あり	
29	5,118	2,851	1,973	289	1,682	3,432	
30	5,783	3,434	2,085	261	2,010	3,770	
元	5,679	3,426	1,995	256	1,927	3,751	
内 訳	成人計	4,507	2,675	1,607	223	1,537	2,969
	男性	1,593	899	588	105	495	1,098
	女性	2,914	1,776	1,019	118	1,042	1,871
	妊婦	1,169	750	387	32	389	780
	連携	3	1	1	1	1	2

対象者 : 20, 25, 30, 35, 40, 45, 50, 55, 60, 65, 70歳の区民
(平成29年度~)

- ・ 令和元年3月末の累計
- ・ * CPI-modified測定不能者2名 出血(BOP)該当歯なし1名
- ・ 歯肉の状態(PD最大値)の説明
- ・ *0 健康な歯肉 *1 4~5mmに達するポケット
- ・ *2 6mmに達するポケット

4ミリ以上の歯周ポケットがある区民の割合



(3) 令和2年度の取り組みについて

40歳、50歳、60歳に加え、70歳にも再勧奨ハガキを送付し、受診率の向上を図るとともに、若い世代から歯周病予防を啓発していく。

2 後期高齢者歯科健診受診状況

(1) 健診の目的

高齢期における口腔機能の低下を予防し、健康の維持・増進を図るため、平成30年度から歯科健診を開始した。

(2) 対象者

76歳および80歳(年度末年齢)

(3) 令和元年度受診者数(人)

年齢	対象者数	受診者数			受診率
		男性	女性	合計	
76歳	8,411	298	459	757	9.0%
80歳	6,380	195	313	508	8.0%
計	14,791	493	772	1,265	8.6%

(4) 令和元年度後期高齢者歯科健診結果

ア むし歯及び歯肉の状況

区分 年度	実施 人数	むし歯 のない 者	むし歯のある者			歯肉の状態 (PD 最大値)			出血(BOP)		
			治療完 了の者	要治療 の者	計	*0	*1	*2	なし	あり	
30	1,345	10	839	461	1,300	478	555	238	442	830	
元	1,265	11	807	404	1,211	495	504	192	428	763	
年 齢	76歳	757	8	486	243	729	297	309	117	266	457
	80歳	508	3	321	161	482	198	195	75	162	306

・令和2年3月末の累計

* 無歯顎(歯が0本)の人 43名(76歳 20名 80歳 23名)

* CPI-modified測定不能者 31名(76歳 14名 80歳 17名)

* BOP測定不能者 1名

・歯肉の状態(PD 最大値)の説明

*0 健康な歯肉 *1 4~5mmに達するポケット

*2 6mmに達するポケット

(5) 令和2年度の取り組みについて

受診勧奨用封筒をわかりやすいデザインに変更する等、受診率の向上を図るとともに、歯科健診結果と問診項目(生活、食習慣)等の分析を行う。

第 1 回健康あだち 2 1 専門部会報告資料

令和 2 年 7 月

件 名	「足立区子どもの健康を守る卒煙チャレンジ支援事業」の開始について
所管部課	こころとからだの健康づくり課
内 容	<p>子どもおよび妊婦を受動喫煙の害から防ぐため、令和 2 年 4 月 1 日より、禁煙希望者への禁煙外来治療費助成を開始した。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 事業概要 <p>子どもと同居する保護者で禁煙を希望する者を対象に、健康保険適用の禁煙外来治療における自己負担分の費用を助成する。</p> 2 対象 <p>以下の条件をすべて満たす方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 18 歳未満の子どもと同居する保護者（妊婦およびそのパートナーを含む） ・ 足立区に住民登録があること（登録時および助成金申請時） ・ 医療機関での禁煙治療中でないこと ・ 20 歳以上であること 3 対象医療機関 <p>区内の禁煙外来指定医療機関（75 か所）</p> 4 助成額 <p>上限 2 万円（1 人 1 回のみ） 全 5 回の受診を終えた方に限る</p> 5 定員 <p>50 名</p> 6 助成までの流れ <p>事業への事前登録を郵送又は F A X、窓口にて申請。 区での審査・決定後に区内指定医療機関での禁煙治療を開始。 治療完了後にかかった医療費・薬剤費等を申請。 区での確認・審査後に、助成金を受領。</p>

7 周知方法

- ・ あだち広報3月25日号に掲載
- ・ ホームページ、Aメールにて情報発信
- ・ 各保健センターの妊婦面接時に事業の説明、チラシ配付

8 申込状況

13名(令和2年6月10日現在)

内訳：男性8名、女性5名

第 1 回健康あだち 2 1 専門部会報告資料

令和 2 年 7 月

件 名	令和元年度ころといのちの相談支援事業の実績及び令和 2 年度の 取組み方針について
所管部課	衛生部 ころとからだの健康づくり課
内 容	<p>令和元年足立区自殺者数及び令和元年度ころといのちの相談支援事業における主な取組み結果について報告する。</p> <p>1 足立区自殺者の現状（人口動態統計） 令和元年の区自殺者数は、125 人で前年 121 人より増加した。特に 40 歳代男性が 11 人から 22 人へ増加し、若年者、高齢者は横ばいである。 【資料 5 - 1 参照】</p> <p>2 当事者に対する支援 （1）インターネット・ゲートキーパー事業 キーワード検索件数は、初年度より月あたり 1,000 件程度減少しているが、若年者の新規相談者数は 79 人から 89 人に増加している。 キーワード検索件数：111,898 回 ホームページクリック数：6,305 回 実相談者数：115 人 前年度 検索件数：123,602 回 クリック数 5,179 回 相談者数：108 人 【資料 5 - 2 参照】</p> <p>（2）雇用・生活・ころと法律の総合相談会におけるころとの相談ブース 例年 5 回 30 日間実施のところ 22 日間（3 月中止のため）となったが、一日あたりの延べ相談人数は、3.5 人から 4 人と増えた。 相談人数：88 人（うち自殺念慮者 14 人） 前年度 相談人数：105 人（うち自殺念慮者 21 人）</p> <p>（3）遺族支援 分かちあいの会「とまり木」 3 月が中止となり、11 回の開催であったが、延べ人数は横ばいである。 参加者：実 12 人、延べ 16 人 前年度 参加者：実 15 人、延べ 16 人</p> <p>3 関係機関とのネットワーク構築 （1）ころといのちの相談支援ネットワーク会議 NPO 法人 OVA および東京都行政書士会足立支部の新規加入により、ネットワーク機関が増加した。 会議出席機関数：庁外 27 機関、庁内 21 課 前年度 庁外 23 機関、庁内 21 課</p>

(2) つなぐシート連携状況：342件

研修での周知を図り、前年度とほぼ同数を維持した。

前年度：346件

4 人材育成

ゲートキーパー研修

上級研修は「孤立した高齢者」をテーマに実施したことで、介護事業者の参加が増えた。また、教職員向け研修では、新たにスクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカーを対象にした研修を実施した。

【初級】

対象：区職員、民生・児童委員、相談支援にかかわる関係者

参加人数：155人 前年度：193人

【中級】

対象：区職員、民生・児童委員

参加人数：174人 前年度：206人

【上級】

対象：区職員、民生・児童委員、医療・介護関係従事者等

参加人数：225人 前年度：103人

【教職員向けゲートキーパー研修】

対象：小・中学校の教職員、スクールカウンセラー等

参加人数：305人 前年度：188人

【出張ゲートキーパー研修】

対象：介護事業者、絆のあんしん協力員、生活支援サポーター、
母子保健指導員等

参加人数：504人（計12回） 前年度：562人（計11回）

5 啓発

(1) 若年者向けの取組み

特別授業 SOSの出し方教育「自分を大切にしよう」

3月実施予定の学校が中止になった影響により人数は減少した。

区立小・中学校 43校実施 計5,217人（保健師実施23校）

前年度：49校 7,065人

(2) 自殺対策強化月間の取組み（9月、3月）

9月は例年通りに実施したが、3月は新型コロナウイルス対策のため、パネル展示（図書館閉鎖）とこころといのちの講演会を中止した。

ア パネル展示：全図書館、本庁舎アトリウム

イ 懸垂幕・横断幕掲出：本庁舎、本庁舎アトリウム

ウ ビュー坊テレビ：啓発画像放映

- エ ポスター掲示：庁内、バス車内、駅、医療機関、浴場等
- オ あだち広報 8/25 号、2/10 号
- カ こころといのちの講演会

(3) イベントにおける啓発

区民まつりは台風、こころの健康フェスティバルは新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となり、配布枚数が減少した。

千本桜まつりにおけるパネル展示・相談カード配布 500 枚
前年度 1,760 枚

(4) 女性向け相談カードの設置

庁舎窓口、庁舎内女性トイレ、エルソフィア、スーパーベルクス等、女性の手にとりやすい箇所に、継続的に設置した。

12,000 枚 前年度 12,700 枚

(5) 高齢者向け相談カードの設置

平成 30 年度までに高齢者の自殺者が増加したため、令和元年度より区内医療機関、薬剤師会薬局等への一斉送付を開始した。

31,000 枚 前年度 8,000 枚

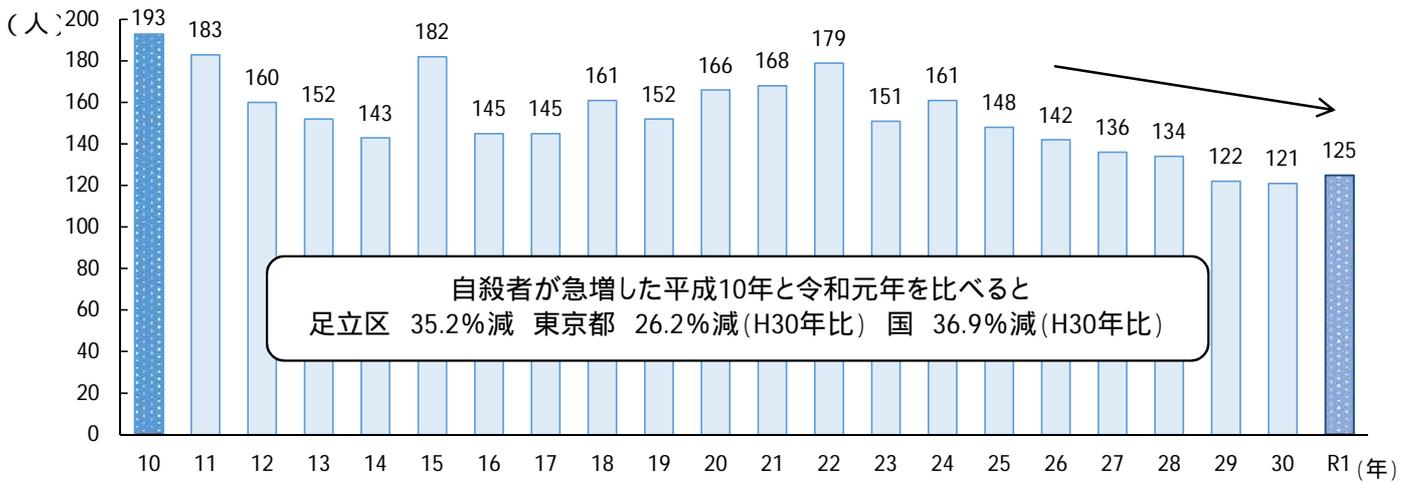
6 令和 2 年度 of 取組み方針

自殺対策計画に基づき、孤立した高齢者への支援と若年者対策に加え、昨年度急増した 40 歳代の男性に重点を置き、取り組みを進める。また、新型コロナウイルス感染症の影響により、生活困窮者が増加し、自殺リスクが増大することが懸念される。各相談窓口との連携を強化していく。

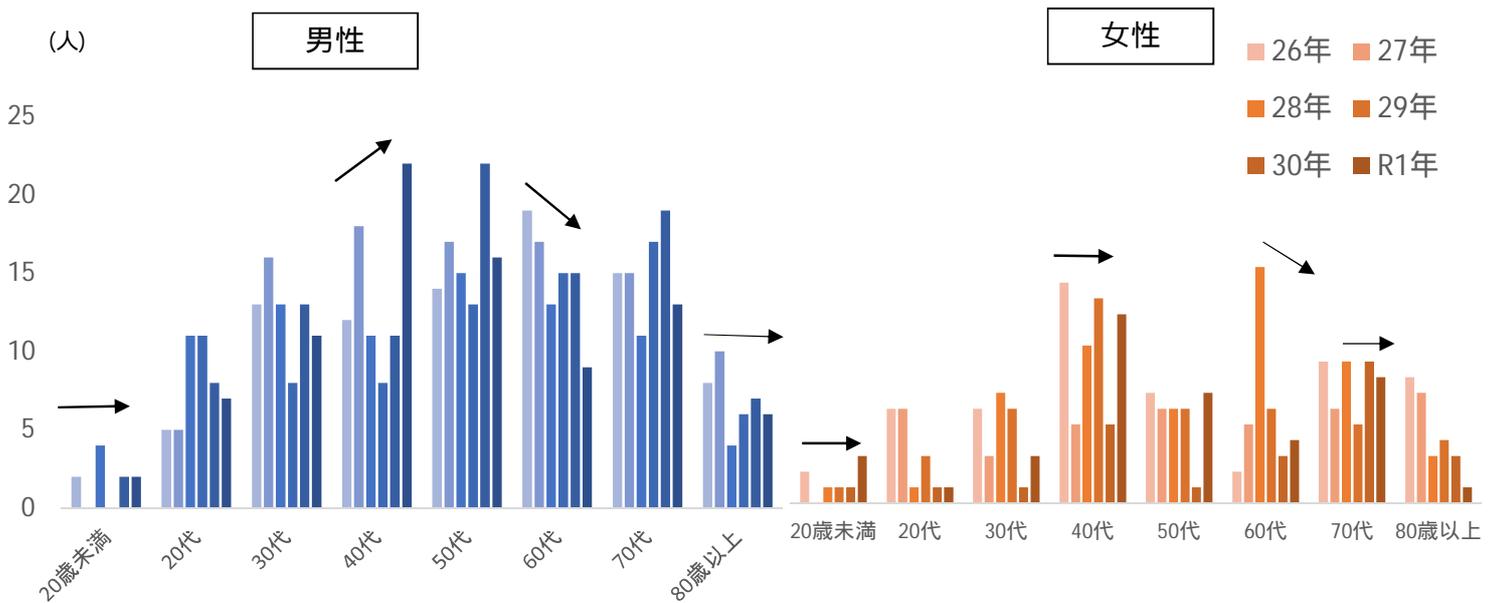
【 足立区自殺者の現状 】

資料5 - 1

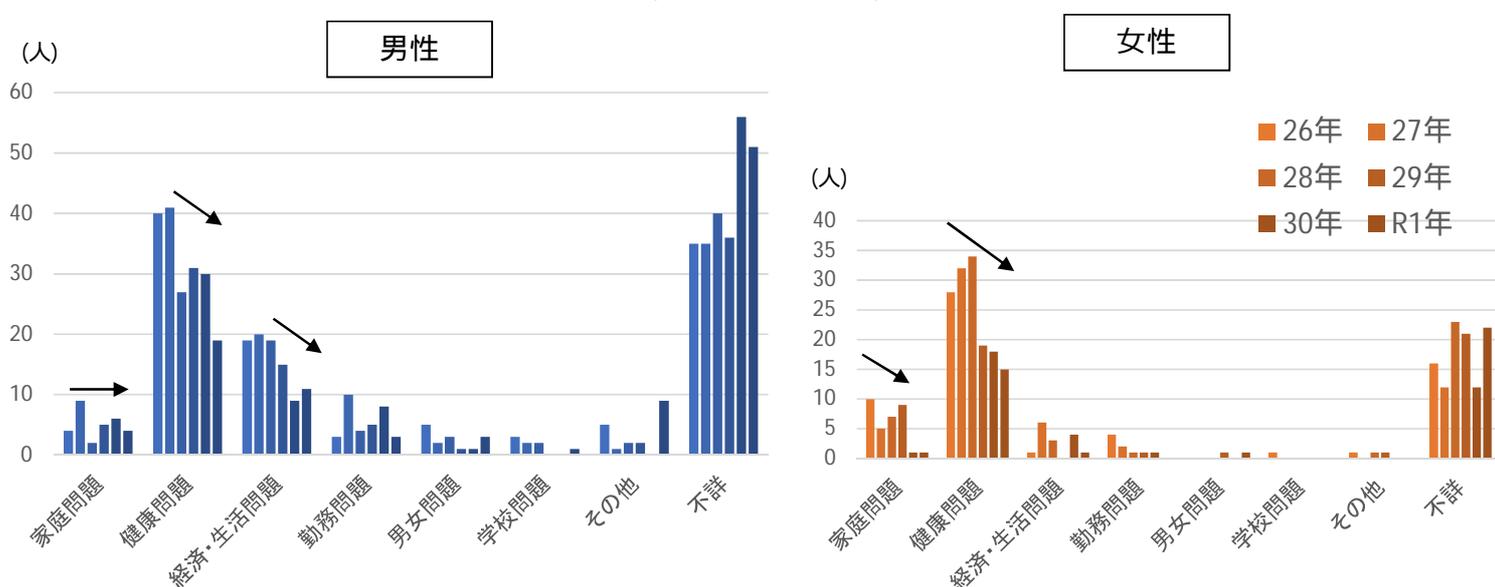
足立区自殺者数の推移【H10-R1】（人口動態統計） R1年は暫定値



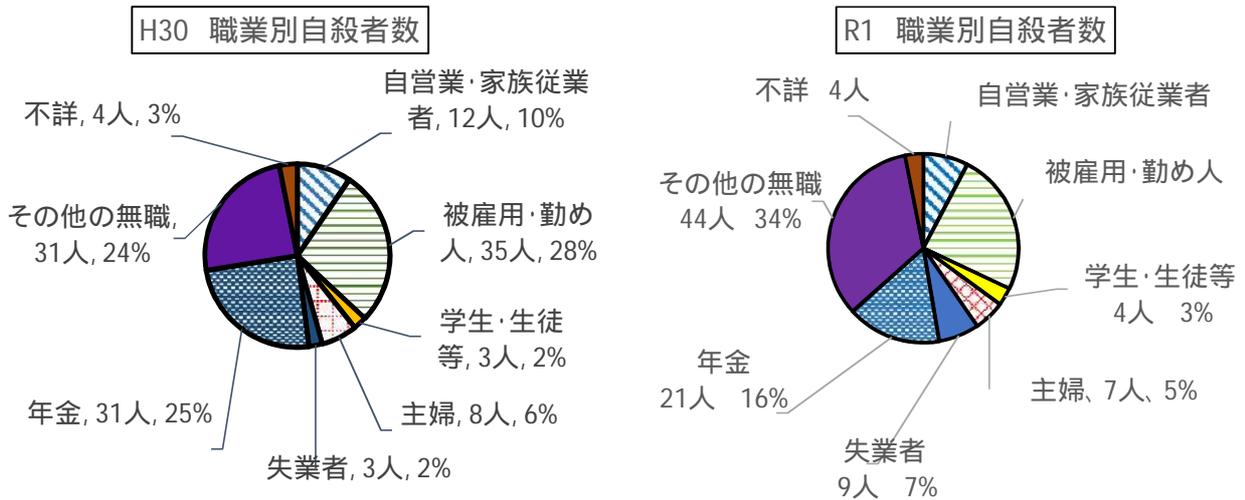
足立区男女別自殺者の推移【H26-R1】（人口動態統計） R1年は暫定値



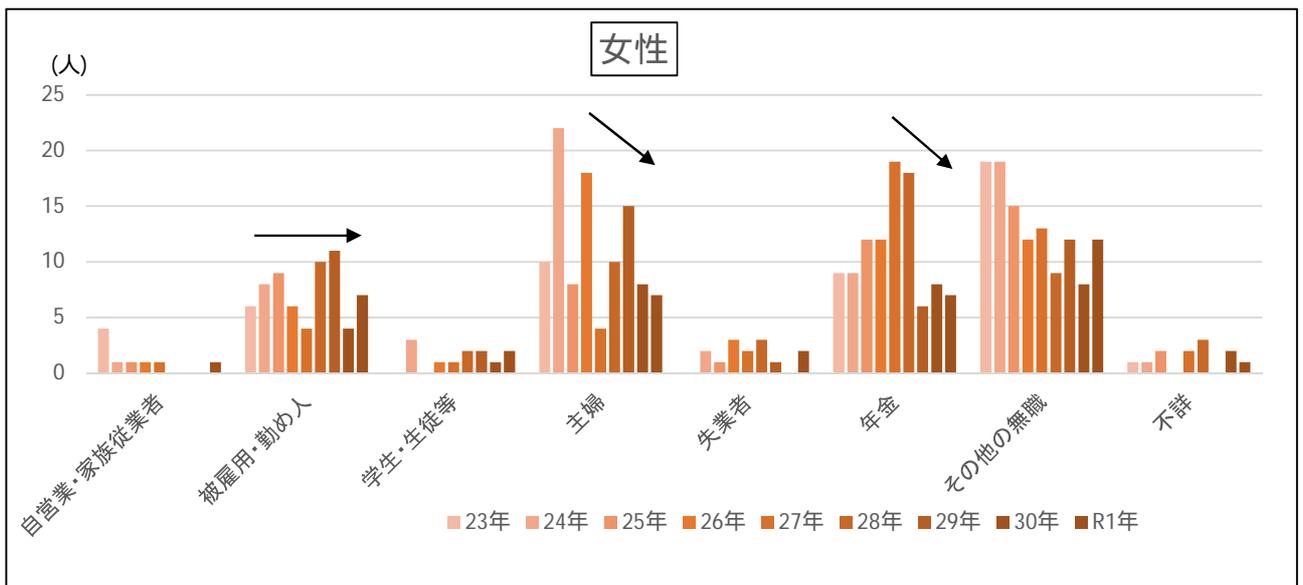
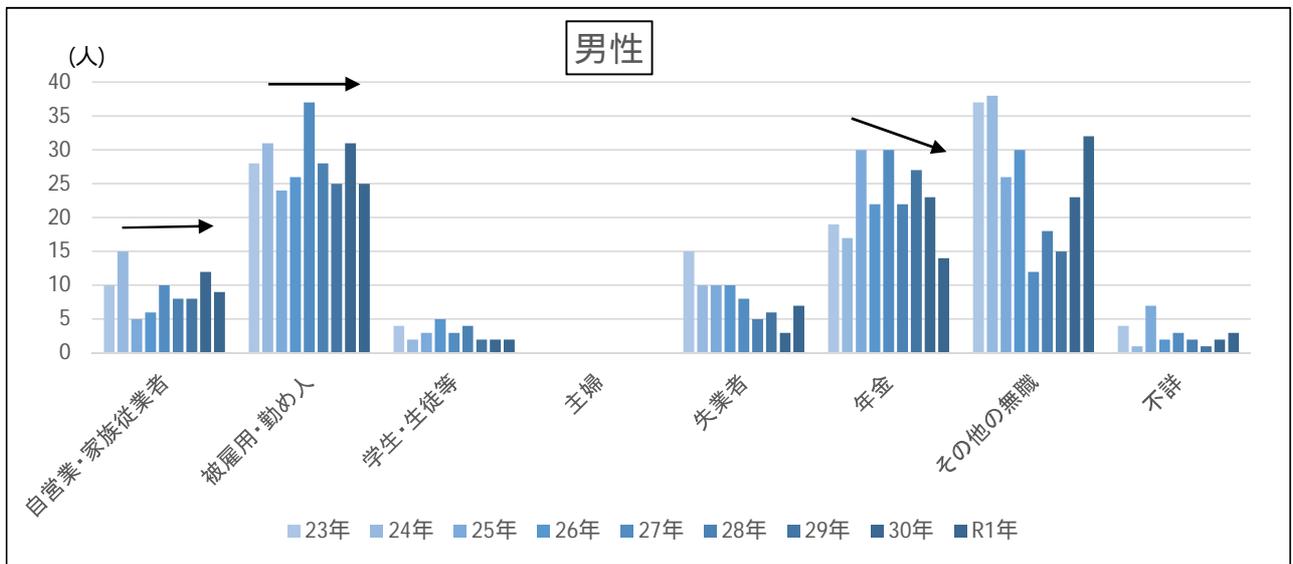
足立区原因・動機別自殺者数【H26-R1】（警察庁自殺統計）



足立区職業別自殺者数【H30・R1比較】（警察庁自殺統計）



足立区職業別自殺者数の推移【H23-R1】（警察庁自殺統計）



インターネット・ゲートキーパー事業

1 事業内容

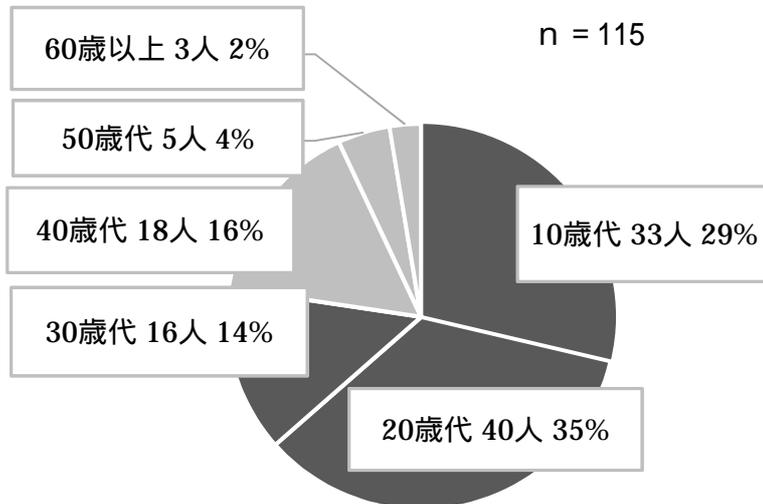
平成30年4月より開始。インターネットで自殺に関連するキーワード(死にたい・自殺方法等330語句)を検索した方に相談を促す広告を表示して、メール相談に誘導。メール相談から現実の相談(電話・面談・他機関との連携等)につなぎ、自殺を未然に防止する。

電話相談につながりにくい孤立した若者等を対象としている。

2 令和元年度実績

	キーワード 検索件数 (A)	ホームページ クリック数 (B)	ホームページ クリック率 (B/A)	相談者数 (C)	ホームページ からの相談率 (C/B)
31年4月 ～ 2年3月 (前年度)	111,898 (123,602)	6,305 (5,179)	5.63% (4.19%)	115 (108)	1.82% (2.09%)

3 相談者年齢別構成割合(令和元年度)

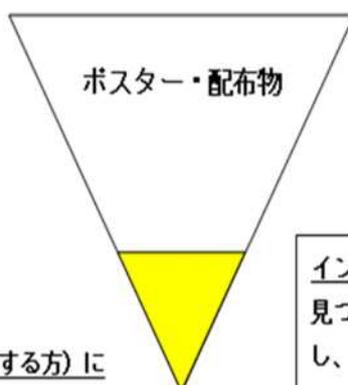
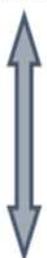


若年の相談者割合

(10～30歳代)
89人 77.4%
(前年度 79人 73%)

【画面表示・見本】

低リスク者に有効



(自殺関連用語を検索する方)に
有効 →10～30代の若年者を中心

インターネット・ゲートキーパー事業
見つけることが難しいハイリスク層を発見し、効果的に情報を届ける。

第 1 回健康あだち 2 1 専門部会報告資料

令和 2 年 7 月

件 名	「第 5 回 子どもの健康・生活実態調査（令和元年度調査）」の実施結果について																		
所管部課	子どもの貧困対策担当部 子どもの貧困対策担当課 衛生部 ころとからだの健康づくり課 教育指導部 教育政策課 教育指導課 学校運営部 学務課																		
内 容	<p>令和元年 10 月に実施した「第 5 回 子どもの健康・生活実態調査（令和元年度調査）」について、国立大学法人 東京医科歯科大学及び国立研究開発法人 国立成育医療研究センターが行った集計分析結果を報告する。</p> <p>1 調査の概要</p> <p>(1) 調査対象者 区立小学校に在籍する 1 年生（全員）5,130 名</p> <p>(2) 調査方法 無記名アンケート方式により、区が学校を通じて質問票・回答票の配付・回収を行い、東京医科歯科大学と国立研究開発法人国立成育医療研究センターが結果の集計・分析を実施した。</p> <p>(3) 調査内容 子どもの健康状態や生活習慣、保護者自身の健康状態や子どもとの接し方、経済状況等（食習慣、歯磨き習慣、生活リズム、自己肯定感、就業状況、世帯の収入、社会的つながり等）</p> <p>(4) 回答票の回収件数及び有効回答数</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 10%;"></th> <th style="width: 15%;">調査対象者数 a</th> <th style="width: 15%;">回答票の回収件数 b</th> <th style="width: 15%;">回答票の回収率 b/a(%)</th> <th style="width: 15%;">有効回答数 c</th> <th style="width: 15%;">有効回答率 c/a(%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小学</td> <td>5,130</td> <td>4,283</td> <td>83.5</td> <td>4,042</td> <td>78.8</td> </tr> <tr> <td>1 年生</td> <td>(5,160)</td> <td>(4,428)</td> <td>(85.8)</td> <td>(4,208)</td> <td>(81.6)</td> </tr> </tbody> </table> <p>()内は、同様の調査を実施した 29 年度の実績値</p> <p>2 主な調査結果（概要） 別添資料「第 5 回 子どもの健康・生活実態調査 令和元年度報告書（概要版）」参照</p>		調査対象者数 a	回答票の回収件数 b	回答票の回収率 b/a(%)	有効回答数 c	有効回答率 c/a(%)	小学	5,130	4,283	83.5	4,042	78.8	1 年生	(5,160)	(4,428)	(85.8)	(4,208)	(81.6)
	調査対象者数 a	回答票の回収件数 b	回答票の回収率 b/a(%)	有効回答数 c	有効回答率 c/a(%)														
小学	5,130	4,283	83.5	4,042	78.8														
1 年生	(5,160)	(4,428)	(85.8)	(4,208)	(81.6)														

3 今後の方針

令和2年度は、継続的な変化及び因果関係を調べるため、小学6年生（全員）の調査に併せて、現在の他年代の実態を把握するため、中学2年生（一部）に対しても調査を行う予定であるが、新型コロナウイルスの影響があるため、協働先の東京医科歯科大学等と協議を進めていく。

第 1 回健康あだち 2 1 専門部会報告資料

令和 2 年 7 月

件 名	高齢者インフルエンザ予防接種における助成について
所管部課	衛生部保健予防課
内 容	<p>当該年度に対象年齢になる方が、接種開始日の 10 月 1 日以降に速やかにワクチンを接種することができるように、令和 2 年度から新たな助成制度「任意接種」を開始する。</p> <p>1 従来助成制度 (1) 65 歳の誕生日前日にならないと、定期接種を利用できない。 (2) 同じ年度に生まれていても、1 月 2 日以降生まれの方は定期接種の対象外</p> <p>2 新たな助成制度の内容 (1) 65 歳の誕生日前日を待たなくても、10 月 1 日から接種可能 (2) 1 月 2 日から 4 月 1 日に 65 歳になる方も、当該年度の助成対象になり 10 月 1 日から接種可能</p> <p>3 接種予定件数 1,077 件</p> <p>4 その他 (1) 接種費用は定期接種と同様(自己負担額 2,500 円) (2) 任意接種は足立区内の医療機関でのみ有効 (3) 定期接種と任意接種の両方が対象となる期間は「定期接種」を優先する。</p>

第 1 回健康あだち 2 1 専門部会報告資料

令和 2 年 7 月

件 名	「足立区糖尿病対策アクションプラン」に基づく令和元年度事業実施結果等の概要報告について																
所管部課	衛生部こころとからだの健康づくり課 データヘルス推進課																
内 容	<p>「足立区糖尿病対策アクションプラン」3つの基本方針に基づき、令和元年度に行った主な事業の実施結果等を報告する。</p> <p>1 野菜を食べやすい環境づくり (1) あだちベジタベライフ協力店 ベジ・ファーストメニューや野菜たっぷりメニュー等を提供する店舗数...815 店舗 (令和 2 年 3 月末時点)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 開拓委託による新規登録...100 店舗 ・ 既存店ののぼり旗等掲示物の点検...40 店舗 <p>ア 6 月食育月間での「“ちょいサラ”グランプリ」の実施や「50 円引き野菜メニュー」の提供...38 店舗</p> <p>イ 11 月糖尿病月間での「1 食 500kcal 台で、野菜 120g 以上、塩分 3g 未満のヘルシーメニュー」の提供...17 店舗</p> <p>ウ 朝から野菜が食べられる「ベジタベモーニングメニュー」の登録店舗数...14 店舗 (令和 2 年 3 月末時点)</p> <p>(店)ベジタベライフ協力店 店舗数の推移</p> <table border="1"> <caption>(店)ベジタベライフ協力店 店舗数の推移</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>店舗数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>25年度</td> <td>82</td> </tr> <tr> <td>26年度</td> <td>630</td> </tr> <tr> <td>27年度</td> <td>624</td> </tr> <tr> <td>28年度</td> <td>607</td> </tr> <tr> <td>29年度</td> <td>592</td> </tr> <tr> <td>30年度</td> <td>728</td> </tr> <tr> <td>R1年度</td> <td>815</td> </tr> </tbody> </table>	年度	店舗数	25年度	82	26年度	630	27年度	624	28年度	607	29年度	592	30年度	728	R1年度	815
年度	店舗数																
25年度	82																
26年度	630																
27年度	624																
28年度	607																
29年度	592																
30年度	728																
R1年度	815																

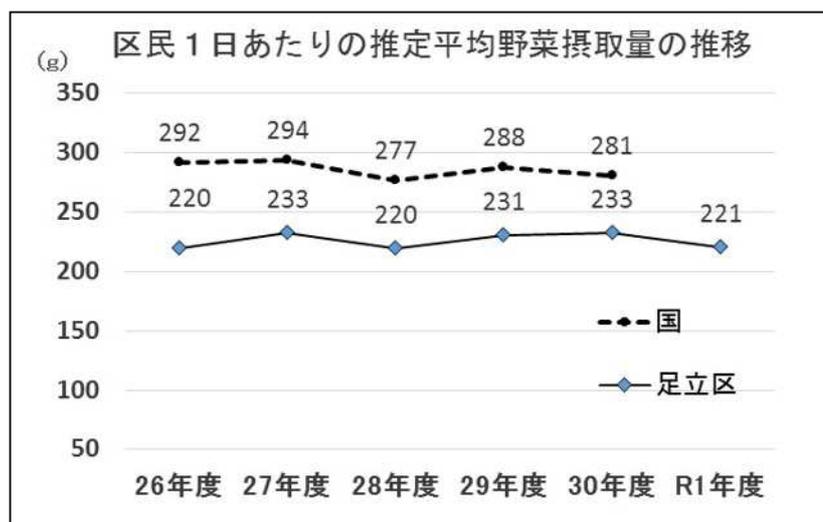
(2) 区民の野菜摂取

ア 区が11月に実施した「簡易型自記式食事歴法質問票(BDHQ)による食習慣調査」

1日あたりの推定平均野菜摂取量...221g

(国が示している目安は、1日あたり350g以上)

調査開始以来、推定野菜摂取量は微増減を繰り返し、横ばいが続いているが、経年変化を国の国民健康・栄養調査と比較すると、差は縮小傾向にある(国との差 H26: 72g H30: 48g)。



(3) クックパッド「東京あだち食堂」、A-メール等における啓発

ア A-メールへのレシピ配信数 37品 累計 312品

イ レシピ投稿サイト「cookpad(クックパッド)」の足立区公式キッチン「東京あだち食堂」へのベジレシピ掲載数 63品、累計 241品、総アクセス数 163万 5980件(令和2年3月末時点)

ウ 足立成和信用金庫のLINEにて、野菜100gレシピ24品配信

(4) 北足立市場協会や民間企業等との連携

ア 北足立市場協会との連携

舎人公園千本桜まつりや北足立市場まつりイベントでの糖尿病予防啓発、食育月間でのベジタベ教室の開催、食育の日(6/19)に合わせた地域の青果店でのイベント実施等

イ 民間企業等との連携

セブン&アイ・フードシステムズ(デニーズ)、セブン-イレブン・ジャパン、イトーヨーカ堂、吉野家、すかいらーく(ガスト、ジョナサンほか)、ビッグボーイジャパン、日高屋、大戸屋、北千住マルイ、ルミネ北千住、カゴメ、山崎製パン、足立成和信用金庫、明治安田生命、JA等でののぼり旗や卓上ポップを活用したベジタベライフの啓発等

2 子ども・家庭の良い生活習慣の定着

(1) 「あだち 食のスタンダード サポート BOOK」の活用

凝った料理を覚えるよりも、簡単であってもバランスのとれた食生活を可能とする実践力＝「あだち 食のスタンダード」の定着を目指し、小中学校や学童保育室、高校等で活用

- ・ ごはん・みそ汁編（主に小学生対象） 7,000 部
- ・ おかず編（主に中学生対象） 7,000 部
- ・ ちょい増し野菜編（主に保護者対象） 10,000 部

については、学務課で作成、配付

(2) 幼稚園等出張栄養教室

保護者には、野菜が身体にとって大切な理由や忙しい朝でも簡単に作れる野菜料理の実演を行い、園児にはパネルシアターや野菜の食べ比べ等の体験型教室を実施

40 回、1,514 人参加（平成 30 年度 38 回、1,398 人）

(3) 学童保育室での料理教室

子どもの食事作りへの関心を高めるため、調理体験教室を実施

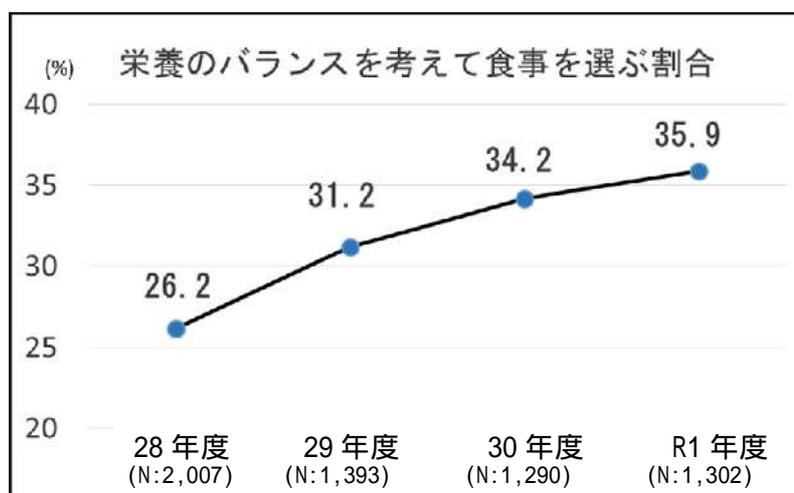
27 回、782 人参加（平成 30 年度 28 回、845 人） 3 月の教室中止

(4) 高校生向け包丁いらずの朝ベジ料理教室

コンビニ等での栄養バランスのよい食事の選び方、朝ベジ料理の実習等、体験を交えた教室を実施

7 校、1,355 人参加（平成 30 年度 8 校、2,140 人） 3 月の教室中止

高校生が栄養バランスを考えて食事を選ぶ割合は、平成 28 年度と比較して 9.7 ポイント増加

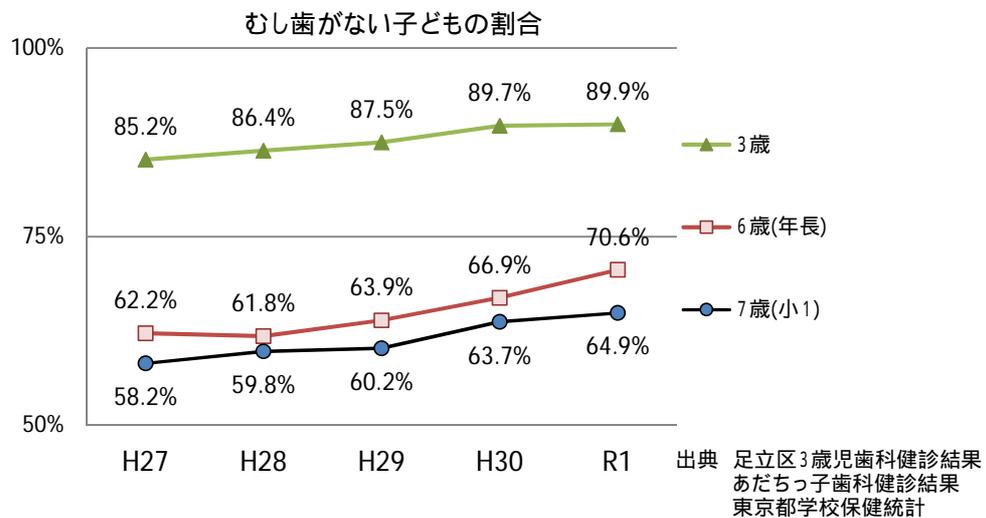


区内都立高校対象・教室実施後アンケート結果より

(5) 子どもの歯科健診結果

ア むし歯がない子どもの割合 (3歳児・年長児・小学1年生)

3歳児 89.9%、6歳(年長児)70.6%、7歳(小学1年生)64.9%と、すべての年齢で前年度より増加した。

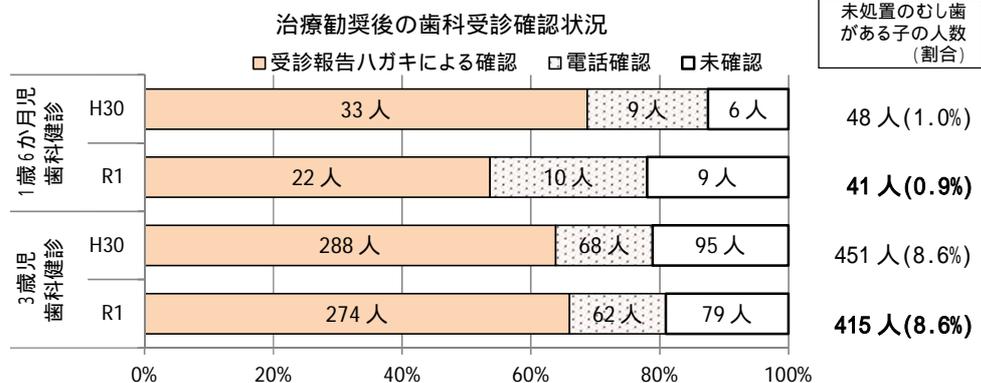


イ 1歳6か月児・3歳児歯科健診フォロー事業の実施

歯科健診の結果、治療が必要な子どもの保護者に丁寧に治療勧奨を行い、ハガキで歯科医療機関の受診確認を行う。健診後2ヶ月経ってもハガキが届かない家庭には、歯科衛生士が電話で確認している。

元年度フォロー率 1歳6か月児 78.0% (32 / 41人)

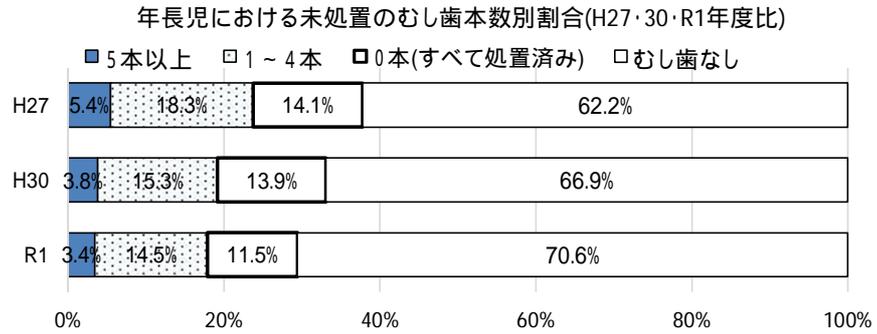
4月末時点の比較 3歳児 81.0% (336 / 415人)



出典 1歳6か月児歯科健診・3歳児歯科フォロー事業集計

ウ 未処置のむし歯が5本以上ある子どもの割合（年長児）

未処置のむし歯を5本以上有する年長児の割合は3.4%と、前年度より0.4ポイント減少した。



出典 あだちっ子歯科健診結果

(6) 未就学期および学齢期における取り組み

ア 年長児・小学1年生対象「6歳臼歯健康教室」の実施

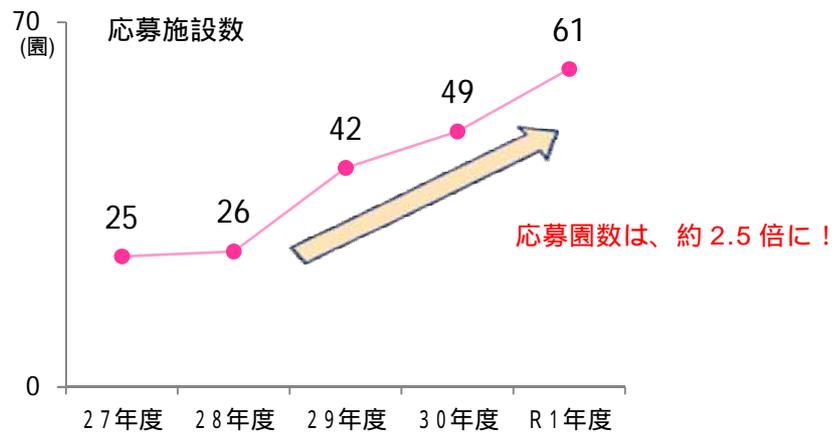
永久歯(6歳臼歯)を健全に育成するため、教育・保育施設、小学校で、足立保健所歯科衛生士によるむし歯予防教室を実施

「6歳臼歯健康教室」実施状況

	実施施設数			
	合計	私立幼稚園	保育施設	小学校
R1年度	212	28	123	61
(30年度)	(193)	(26)	(109)	(58)

イ 「あだちっ子・いい歯推進園表彰事業」の実施

規則正しい食習慣や歯みがき習慣づくり等に積極的に取り組む保育施設や幼稚園を表彰し、広く区民に紹介(応募総数61園)



(7) 家庭・関係機関職員の歯みがきスキル向上の取り組み

ア 仕上げみがき動画作成および動画啓発リーフレット配布

保護者等に仕上げみがきのポイントをわかりやすく伝えるため、「あだち版・仕上げみがき動画(2種類・各約1分)」を作成し、教育・保育施設、保健センター等で啓発リーフレットを配布

イ 「あだち版・子どもの歯みがきマニュアル(改訂版)」作成・配付

子どもたちが自ら歯の健康を守る力の育成を目指して、関係機関職員向けに、年齢・発育に合わせた歯みがき方法や食習慣等をわかりやすく提示した「あだち版・子どもの歯みがきマニュアル(改訂版)」を作成・配付

3 糖尿病重症化予防

(1) 40歳前の健康づくり健診

ヘブ` 吡` ンA1c 値 5.6%以上の方 220 人に対して、栄養指導・保健指導を実施。さらに2ヵ月後にフォローを実施

年度	健診受診者(人)	ヘブ` 吡` ンA1c 値 5.6%以上の人数	栄養指導(ヘブ` 吡` ンA1c 値 5.6~6.4%対象)実施数	保健指導(ヘブ` 吡` ンA1c 値 6.5%以上対象)実施数	2ヵ月後フォロー数(人)	
					栄養指導実施数	保健指導実施数
	a	b (b/a%)	c (c/a%)	d (d/a%)	e (e/c%)	f (f/d%)
R1	1,324	220 (16.6%)	214 (16.2%)	6 (0.4%)	158 (73.8%)	6 (100%)

令和2年5月末時点

(2) 医師会、歯科医師会、薬剤師会の連携による糖尿病合併症予防の仕組みづくり

ア 協力医療機関数 367 機関(内科 131、眼科 33、歯科 191、薬局 12)

イ 区管理栄養士が医療機関に出向き栄養相談を行う「栄養相談サポート事業」のモデル実施(2医療機関、延べ6回)

(3) 薬剤師会による糖尿病重症化予防フォロー事業の実施

ア 区内 12 薬局 (1) において、ヘモグロビンA1c 値測定の結果、糖尿病が疑われるヘモグロビンA1c 値 6.5%以上の区民を医療機関へ受診勧奨

	ヘモグロビンA1c 値 測定者数 a	ヘモグロビンA1c 値 6.5%以上の人数 b (b / a %)	受診確認が できた人数 c (c / b %)
足立区民	88 人	11 人 (12.5%)	4 人 2 (36.4%)
区外	40 人	5 人 (12.5%)	

1 12 薬局のうち 2 薬局は、令和元年 12 月に追加

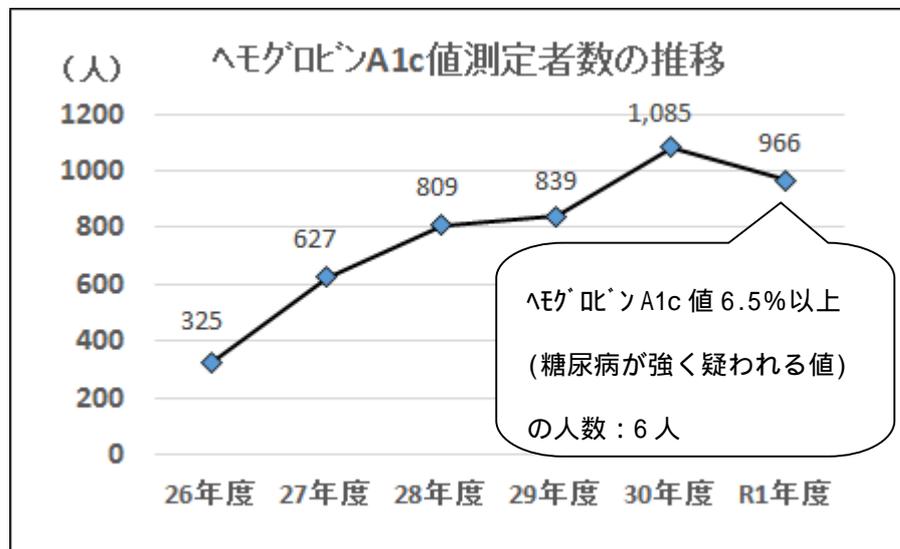
2 11 人のうち受診確認できなかった 7 人の内訳：すでに病院につながっていた方 3 人、連絡が取れない方 4 人

イ 薬局でのヘモグロビンA1c 値測定とベジタベライフを合わせた啓発用ティッシュを作成(10,000 個)し、薬局や各種イベントで配布

(4) 各種イベントでのヘモグロビンA1c 値測定

ふれあいキッズデー、L・フェスタ、糖尿病週間、健康フェスタ(東京電機大学イベント)、保健センター健診事業等での測定...966 人

台風により区民まつり中止、新型コロナウイルス感染症の影響で 2~3 月の保健センター健診事業等での測定中止



(5) 糖尿病・成人眼科健診 (令和元年度より名称変更)

生活習慣や加齢に伴う眼科疾患(糖尿病網膜症、緑内障、白内障、加齢黄斑変性等)を早期に発見して進行を予防するため、対象者全員に受診券を送付

ア 対象者

(ア) 45歳・50歳・55歳の足立区国民健康保険加入者で、次のいずれかの条件に該当する方

前年度の足立区国民健康保険特定健診を受診しなかった方

前年度の足立区国民健康保険特定健診を受診し、ヘモグロビンA1c値5.6%以上で眼底検査を受診したことがない方

(イ) 60歳と65歳の区民全員(前年度の足立区国民健康保険特定健診眼底検査受診者を除く) 令和元年度より65歳を追加

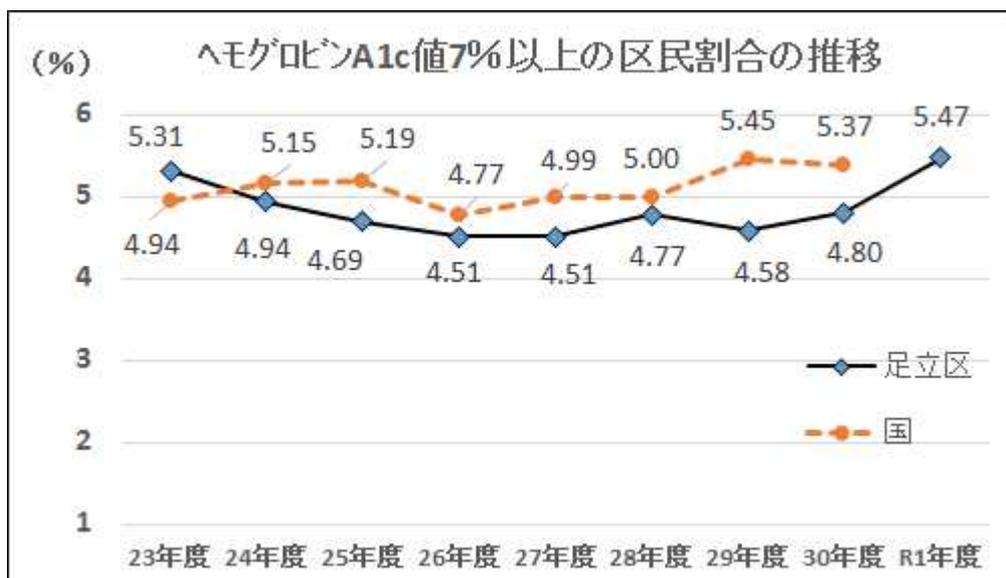
イ 受診者数

年度	対象者数	受診者数	受診率
R1	19,356人	2,941人	15.2%
H30	12,882人	1,619人	12.6%

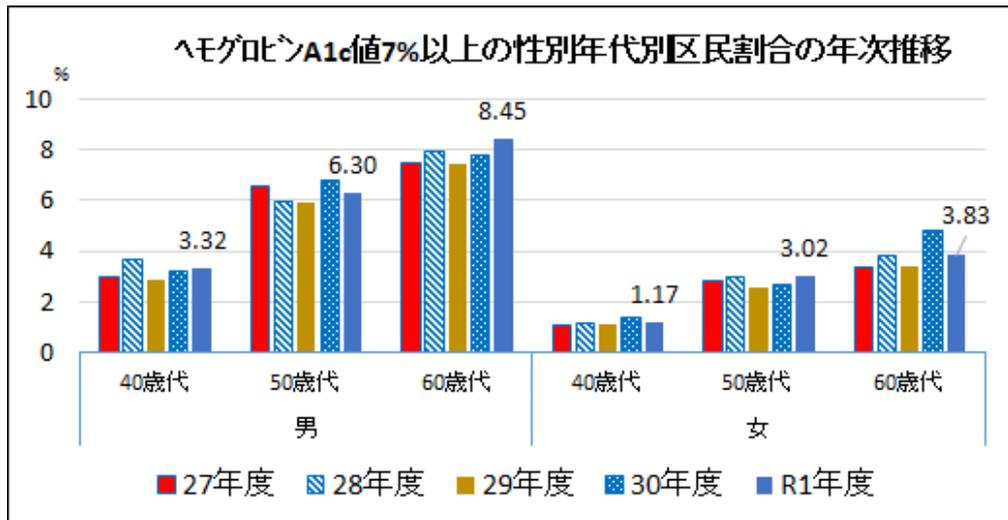
(6) ヘモグロビンA1c値7%以上の区民(足立区国保40~74歳の特定健診受診者のうちヘモグロビンA1c値7%以上の者)の割合

ヘモグロビンA1c値7%以上の区民の割合は、昨年度に比べ0.67ポイント増加した。ここ数年の経済状況の影響により、国保から社保へ転出した方が多く、特に若い世代の国保被保険者が減少し、健康課題のある方が国保に残っている傾向がある。

性別年代別に見ると、どの年代でも男性の割合が高く、50代から数値が急激に増加している。



【参考】



4 今後の方針

今年度は、新型コロナウイルス感染症の状況を考慮しながら、「糖尿病対策アクションプラン」の3つの基本方針に基づき、対策を進めていく。

野菜を食べやすい環境づくりでは、ベジタベライフ協力店の新規開拓委託による店舗数の拡大や質の向上を図る。また「自宅で出来るちょい増し野菜」の啓発を行う。さらに、重症化予防については、データヘルス推進課と連携し、ハイリスク者への対策を行うとともに、40歳前の健康づくり健診等を活用し、高齢期に至る前の若年者の重症化予防を進めていく。

第 1 回健康あだち 2 1 専門部会報告資料

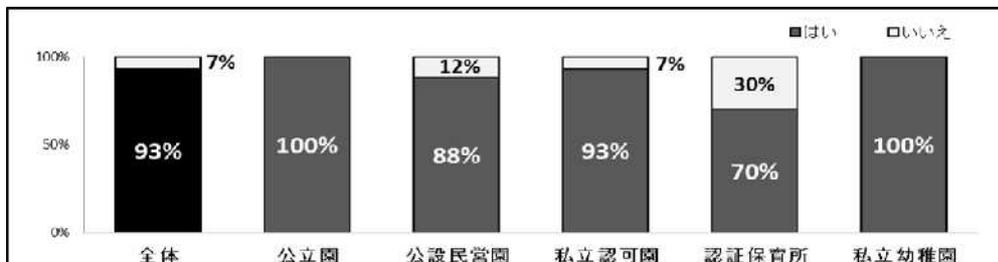
令和 2 年 7 月

件 名	足立区糖尿病対策アクションプラン「おいしい給食・食育対策編」に基づく就学前教育・保育施設での食育の取り組みについて															
所管部課	子ども家庭部 子ども施設指導・支援担当課															
内 容	<p>1 「ひと口目は野菜から」の取り組みの拡大</p> <p>足立区では「ひと口目は野菜から」を合言葉に園児（4・5歳児）に向けて、給食で野菜から食べることに取り組んでいる。</p> <p>（1）これまでの実施状況【表 1】</p> <p>平成 25 年度から取り組んでいる区立園に加え、平成 28 年度からは、公設民営園、私立園、認証保育所の各施設長へも年度当初に各事業への協力を依頼しており、実施園数は年々増加している。さらに、令和元年度からは、私立幼稚園やこども園等の就学前教育施設にも働きかけ、区内すべての就学前の子どもたちに対して、各園が同様に取り組めるよう支援している。</p> <p>【表 1】保育施設の「ひと口目は野菜から」実施施設（ ）内は全施設に対する割合</p> <table border="1" data-bbox="414 1099 1369 1317"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成 28 年度</th> <th>平成 29 年度</th> <th>平成 30 年度</th> <th>令和元年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>保育施設</td> <td>57 園(51%)</td> <td>75 園(68%)</td> <td>106 園(73%)</td> <td>128 園(74%)</td> </tr> <tr> <td>就学前教育施設 (私立幼稚園等)</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>21 園(41%)</td> </tr> </tbody> </table> <p>（2）令和 2 年度の取り組み</p> <p>ア 未実施園の事業に対する理解を得るため、私立園長会や栄養士会、幼稚園訪問において「幼児期から野菜から食べる食習慣が肥満を予防する」というこれまでの「子どもの健康・生活実態調査」の分析結果等を丁寧に説明し、さらなる実施園の拡大をめざす。</p> <p>イ 家庭への普及・定着をめざし、各施設の協力を得て、保護者への働きかけを推進する。具体的には、6 月の食育月間に家庭用レシピ等を紹介したカラフルな保護者向け資料を担当課で作成し、各施設に配付を依頼した（資料 8（1）- 1 参照）。</p> <p>2 食育月間の取り組みの充実（野菜の栽培 + 調理体験）</p> <p>平成 28 年度から 4・5 歳児在園保育施設全園（私立幼稚園以外）に小松菜の種を配付し、各園で栽培・収穫等により食育を実施している。区立園では全園で小松菜の調理体験も行っている。</p>		平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	保育施設	57 園(51%)	75 園(68%)	106 園(73%)	128 園(74%)	就学前教育施設 (私立幼稚園等)	-	-	-	21 園(41%)
	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度												
保育施設	57 園(51%)	75 園(68%)	106 園(73%)	128 園(74%)												
就学前教育施設 (私立幼稚園等)	-	-	-	21 園(41%)												

(1) 令和元年度の実施状況【表2】

令和元年度は、保育施設の他、就学前教育施設の希望園（私立幼稚園18園）にも小松菜栽培セットを配付し、新規栽培施設については、区内農家のご協力の下、栽培指導会等も開催した。その結果、食育月間アンケートでは、9割以上の施設で小松菜栽培や調理体験を実施したという回答があった。

【表2】小松菜栽培を実施しましたか（令和元年度食育月間アンケートより）



(2) 令和2年度の取り組み

今年度も対象施設に小松菜栽培セットは配付したが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、実施については、各施設の状況に合わせて可能な時期での実施をお願いしている。

3 令和元年度「生活・ベジタベアンケート」の分析結果【図1】

(1) 平成30年度から、従来の「ベジタベアンケート」から生活習慣と食習慣を合わせた「生活・ベジタベアンケート」に変更し、4・5歳児在園の保育施設と私立幼稚園（モデル園）で実施している。（令和元年度は保育施設143園、私立幼稚園6園で実施）

(2) 令和元年度結果では、給食で「ひと口目は野菜から」食べる園児は、家庭でも自分から進んで野菜を食するなどの良い習慣が定着する傾向が見られた。この結果を保護者に周知するため、保護者向け資料【図1】にまとめ、各施設に周知を依頼した。

【図1】保護者向け資料「生活・ベジタベアンケートからの生活リズムちょっと良いはなし」より



(3) 当アンケートは、今年度で3年目となるため、経年の変化等も分析し、各施設の状況把握と課題を明確にし、施設にあわせた支援をしていく。



#おうちでつくってみよう

6月は食育月間。「自宅で出来る！ちよい増し野菜」をテーマに、ご家庭で簡単にできるベジレシピをご紹介します。

園では、健康的な食習慣の定着と、野菜に親しむことをめざして、幼児期から『ひと口目は野菜から』食べる習慣づくりを行っています。

ご家庭でも『ひと口目は野菜から』を実践し、家族みんなで健康になりましょう！

Cookpad 足立区公式キッチン



「日本一おいしい給食」を目指している給食のレシピや、「あだちベジタベライフ」の野菜たっぷりレシピをご紹介します。保育園給食のレシピもいっぱいです。

詳しくは
こちら↓



毎月19日は「食育・やさいの日」 食育・やさいの日レシピ集



区立園では、毎月19日は「食育・やさいの日」として、旬の野菜を使った給食を提供しています。12か月の旬野菜を紹介したレシピ集です。

詳しくはこちら→



包丁いらす！ 簡単野菜レシピ動画



包丁を使わない、手軽で簡単にできるレシピを動画でご紹介しています。

詳しくは
こちら→



朝はこれでバッチリ！ 朝ベジ1週間レシピ



主食・主菜・副菜がたったの5分でそろい、朝食におすすめのベジレシピを1週間分まとめてご紹介しています。

詳しくはこちら→



あだち食のスタンダードサポート BOOK・自分で作ろう！



詳しくは
こちら↓



【ステップ1】ごはん・みそ汁編

炊飯器でのごはんの炊き方やみそ汁の作り方、包丁の使い方を学べます。年長さんの、おうちでのお手伝いピッタリ！

【ステップ2】おかず編

火を使わないメニューから電子レンジクッキングなど、メニューに困ったときにも簡単に野菜がプラスできるレシピがいっぱいです。

【ステップ3】ちよい増し野菜編

忙しい朝におすすめの時短レシピや、野菜を簡単にストックできるフリージングのコツ、キッチングッズの便利な活用方法などのアイデアがいっぱいです。



第 1 回健康あだち 2 1 専門部会報告資料

令和 2 年 7 月

件 名	小中学校での取り組みについて
所管部課名	学校運営部学務課
内 容	<p>令和元年度おいしい給食推進事業の実施結果及び令和 2 年度の事業計画について、以下のとおり報告する。</p> <p>1 令和元年度の実施結果（主な取り組み）</p> <p>（ 1 ）もりもり給食ウィーク</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 実施日：6 月、1 月の各 1 週間 ・ 内 容：喫食時間確保、給食時間中の教員等の関わりの充実 <p>（ 2 ）給食メニューコンクール</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ テーマ：東京オリンピック・パラリンピック競技大会の開催に向けて「世界の料理」をおいしい給食に変身させよう！ ・ 応募数：小学生応募総数 4,342 作品【30 年度：4,324 作品】 中学生応募総数 2,638 作品【30 年度：2,748 作品】 区長賞ほか、小中学校上位各 1 0 作品を表彰 <p>（ 3 ）魚沼産コシヒカリ給食の日</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 実施日：1 0 月 2 9 日(火) ・ 内 容：中学生が「魚沼自然教室」で農作業体験をし、収穫した新米を小中学校、区立保育園等の給食に提供。 <p>（ 4 ）小松菜給食の日</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 実施日：1 1 月 1 8 日(月)、1 9 日(火)、2 6 日(火) 各校いずれかの日で実施 ・ 内 容：JA 東京スマイルより無償提供いただいた小松菜を使用した給食を小中学校で一斉に実施。 <p>（ 5 ）野菜の日（衛生部と協働した糖尿病対策）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 実施日：月 1 回（各学校ごとに実施） ・ 内 容：旬の野菜を使った給食を提供し、野菜摂取の啓発と食育を実施。また、給食だよりに家庭用レシピを掲載するなど家庭での野菜摂取を啓発。

(6) 「ひと口目は野菜から」事業の推進

6月の食育月間に合わせて、教室掲示用ポスターを全校へ配付し、全教室内での掲示により啓発を行った。

(7) おいしい給食指導員の導入

ベテラン学校栄養士の経験やスキルを活用し、残菜率が高い学校や経験の浅い栄養士が配置されている学校へ集中的な巡回指導、助言を行うとともに、指導改善の検証のため再訪問を行った。

- ・ 訪問校数 17校（小学校：8校 中学校：9校）

(8) 「家庭科学習指導案」、「わが家のシェフになろう」の実施

2 令和2年度の実施計画（主な予定）

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止、縮小、変更等の可能性あり。

(1) 新規・拡充事業

事業名	令和2年度取り組み
「ひと口目は野菜から」取り組み【拡充】	<ul style="list-style-type: none">・「ひと口目は野菜から食べましょう！いただきます」と声かけを全クラスで実施・啓発ポスターA4版を増刷し、給食時間に全クラスで黒板に掲示・おいしい給食指導員の巡回指導
食を通して世界そして日本を知る【拡充】	<p>オリパラ教育の一環として、子どもたちに世界の国・料理を知ってもらい、そして日本の行事・食文化などを再認識してもらう。</p> <ul style="list-style-type: none">・各校で月に1か国以上、世界の料理を給食提供・和食おすすめレシピを栄養士掲示板に掲載（毎月）
「おいしい給食」の取り組みを広くPRする【新規】	<ul style="list-style-type: none">・「世界の料理」給食の様子をSNSに掲載、簡単レシピをクックパッドに掲載
学校栄養士のスキルアップ【新規】	<p>すべての子どもたちに足立区のおいしい給食を提供していくため、他校での人気献立や取り組み事例などを情報提供し、スキルアップをめざす。</p> <ul style="list-style-type: none">・和食おすすめレシピを栄養士専用掲示板に掲載・おいしい給食指導員が学校巡回指導した事例等を取りまとめ、全校の栄養士に情報提供する。

(2) 継続事業		
事業名	日程(予定)	令和2年度取り組み
「ひと口目は野菜から」取り組み	通年	通年の取り組みとして引き続き実施する。
野菜の日	通年 (毎月1回)	毎月、学校ごとに「野菜の日」を実施。給食で旬の野菜のおいしさを味わうとともに、給食だより等で家庭用レシピを提供し、家庭への啓発を行う。
おいしい給食検討会	毎月1回 (2月除く)	各校の栄養士のスキルアップ及びおいしい給食の推進を図るため実施する。 検討内容(献立検討、給食会計、衛生管理、アレルギー対応等に対する指導と意見交換) 開催の可否は都度決定
もりもり給食ウィーク	1月 (6月は中止)	1月の給食週間の時期にあわせて「食べる時間の確保」「食育指導」の取り組みを全校で実施する。
給食メニューコンクール	募集期間 夏休み 表彰式 10月	テーマに合わせた給食の写真もしくはカラーイラストを夏休み期間に募集する。
あだち区民まつり	10月	荒川河川敷虹の広場で実施する「あだち区民まつり」に「おいしい給食PRブース」を出展する。
魚沼産コシヒカリ給食の日	10月下旬	中学生が「魚沼自然教室」で農作業体験をし、収穫した新米を小中学校、区立保育園等の給食に提供する。
おいしい給食アンケート	実施 10月~11月 集計・分析 12月~2月	全校(小学6年生、中学2年生)を対象に「おいしい給食アンケート」を実施する。

小松菜給食の日	11月下旬	JA東京スマイル農業協同組合事業の一環として、足立区産の小松菜を無償提供いただき、小中学校で「小松菜給食」を実施する。
「家庭科学習指導案」の活用	通年	小中学校の家庭科・家庭分野授業において、食の栄養知識・献立作成及び調理実習における基礎的な学習指導案を作成、各校での学習指導に活用する。
長期休み期間の課題「わが家のシェフになろう！」	通年	小中学校の家庭科・家庭分野授業で事前に学習した後、長期休み期間を活用して子どもたちが自宅で調理を行うことで、食の実践力を身につける。
食育リーダーを中心とした体制の強化	食育リーダー研修会 (10月、1月) (6月は中止)	栄養士以外の教員を食育リーダーとして指定し、栄養士だけでなく教員を含めた校内体制を構築することで、学校全体でおいしい給食・食育対策を推進させる。 食育リーダー研修会を年2回実施する(教育指導課と合同開催)。 研修が実施できない場合は、資料送付等にて対応予定

3 小中学校平均残菜率・総残菜量の推移について

(1) 小中学校別平均残菜率

- ・ 小学校
9.0% (平成20年度当初) 2.2% (令和元年度)
- ・ 中学校
14.0% (平成20年度当初) 4.6% (令和元年度)

(2) 小中学校総残菜量

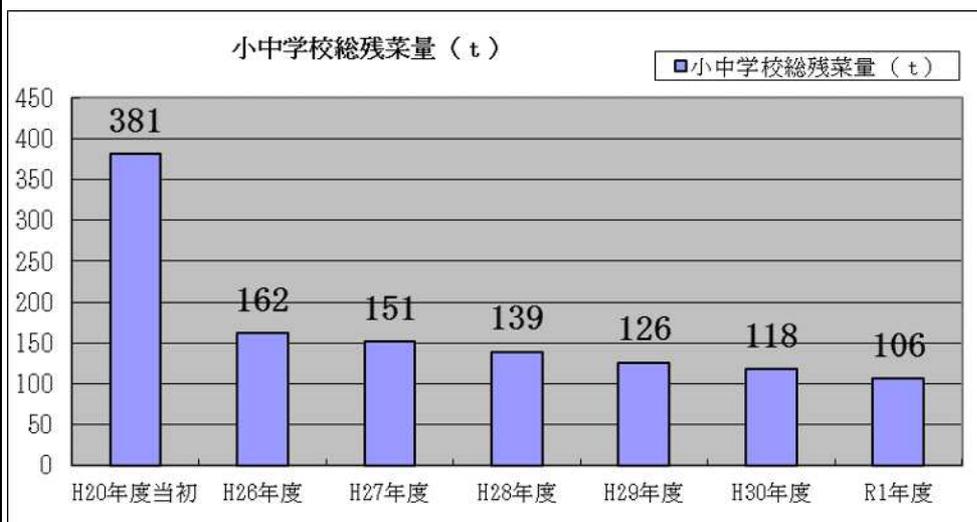
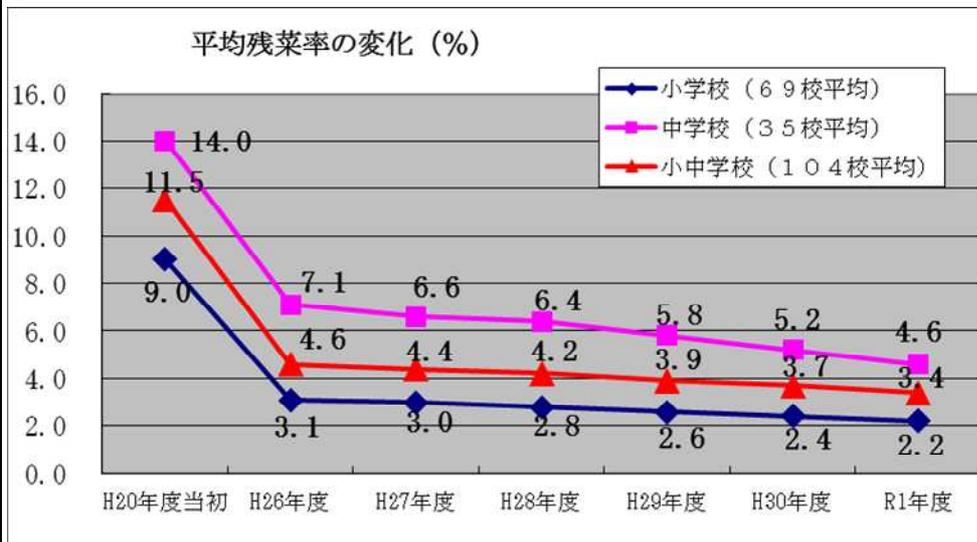
381t (平成20年度当初) 106t (令和元年度)

275t減少

給食費の単価で計算すると、平成20年度当初から令和元年度まで約9,850万円分を無駄にせず食べたことになる。

(3) 評価・課題

各校における様々な取り組みや、令和元年度から導入したおいしい給食指導員の巡回指導などにより、減少させることができた。一方で、高止まりや右肩上がりの学校も見受けられるため、引き続き、学校全体の取り組みとして推進していく。



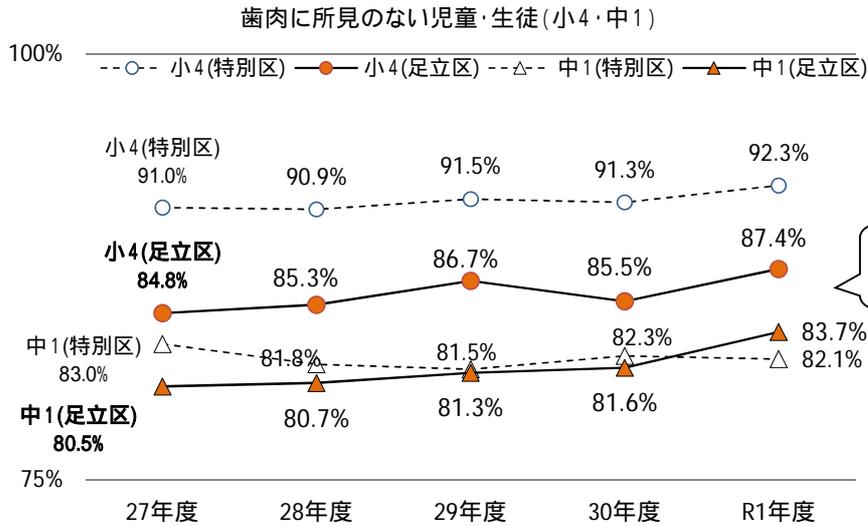
第1回健康あだち21専門部会報告資料

令和2年7月

<p>件名</p>	<p>「歯科口腔保健対策編【中間見直しによる改定版】」の実施結果と令和2年度の取り組みについて</p>																																								
<p>所管部課</p>	<p>衛生部データヘルス推進課</p>																																								
<p>内容</p>	<p>1 令和元年度の事業実績</p> <p>(1) 子どものむし歯・歯周病の状況</p> <p>ア むし歯のない子どもの割合特別区平均との経年比較【3歳児・小学1年生】</p> <p>3歳児・小学1年生ともに増加し、特別区平均との差が縮小傾向にある。</p> <p style="text-align: center;">むし歯がない子どもの割合 [H27～R1年度]</p> <table border="1"> <caption>むし歯がない子どもの割合 [H27～R1年度]</caption> <thead> <tr> <th>年齢・区分</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3歳・特別区</td> <td>88.5</td> <td>89.4</td> <td>90.8</td> <td>91.9</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>3歳・足立区</td> <td>85.2</td> <td>86.4</td> <td>87.5</td> <td>89.7</td> <td>89.9</td> </tr> <tr> <td>小1・特別区</td> <td>65.1</td> <td>66.9</td> <td>67.4</td> <td>69.5</td> <td>70.3</td> </tr> <tr> <td>小1・足立区</td> <td>58.2</td> <td>59.8</td> <td>60.2</td> <td>63.7</td> <td>64.9</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right;">(都)秋頃公表</p> <p style="text-align: center;">出典: 東京の歯科保健、東京都学校保健統計書</p> <p>イ 6歳臼歯(永久歯)にむし歯がない児童の割合【小学3年生】</p> <p>6歳臼歯にむし歯がない児童は、前年度より1.2ポイント減少した。</p> <p style="text-align: center;">小学3年生の6歳臼歯にむし歯がない子の割合</p> <table border="1"> <caption>小学3年生の6歳臼歯にむし歯がない子の割合</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>割合 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H28</td> <td>90.3</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>90.0</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>91.4</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>90.2</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right;">出典: 足立区独自調査結果</p>	年齢・区分	H27	H28	H29	H30	R1	3歳・特別区	88.5	89.4	90.8	91.9	-	3歳・足立区	85.2	86.4	87.5	89.7	89.9	小1・特別区	65.1	66.9	67.4	69.5	70.3	小1・足立区	58.2	59.8	60.2	63.7	64.9	年度	割合 (%)	H28	90.3	H29	90.0	H30	91.4	R1	90.2
年齢・区分	H27	H28	H29	H30	R1																																				
3歳・特別区	88.5	89.4	90.8	91.9	-																																				
3歳・足立区	85.2	86.4	87.5	89.7	89.9																																				
小1・特別区	65.1	66.9	67.4	69.5	70.3																																				
小1・足立区	58.2	59.8	60.2	63.7	64.9																																				
年度	割合 (%)																																								
H28	90.3																																								
H29	90.0																																								
H30	91.4																																								
R1	90.2																																								

ウ 歯肉に所見がない児童・生徒の割合(小学4年生・中学1年生)

歯肉に所見がない児童・生徒は、前年度より小学4年生が1.9ポイント、中学1年生が2.1ポイント増加した。



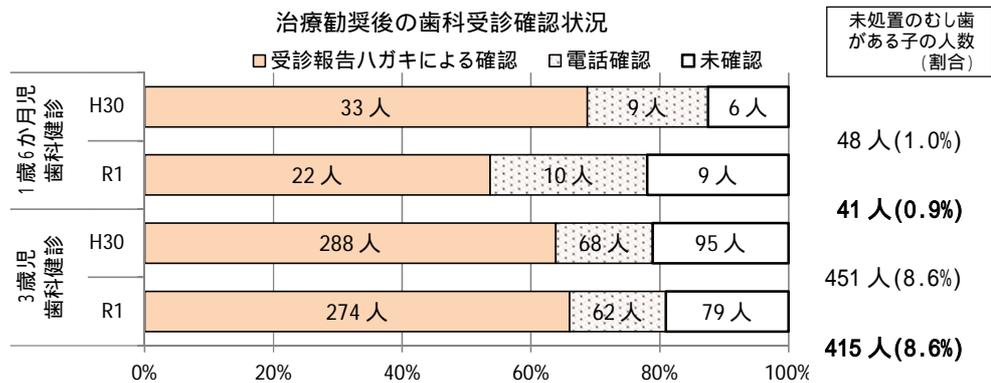
出典:東京都学校保健統計書

(2) 1歳6か月児・3歳児歯科健診フォロー事業の実施

歯科健診の結果、治療が必要な子どもの保護者に丁寧に治療勧奨を行い、ハガキで歯科医療機関の受診確認を行う。健診後2ヶ月経ってもハガキが届かない家庭には、歯科衛生士が電話で確認している。

元年度フォロー率 1歳6か月児 78.0% (32 / 41人)

4月末時点の比較 3歳児 81.0% (336 / 415人)



出典 1歳6か月児歯科健診・3歳児歯科フォロー事業集計

(3) あだちっ子歯科健診

平成27年度から、足立区歯科医師会、足立区教育委員会、衛生部が連携し、年少児(4歳)から年長児(6歳)を対象に「あだちっ子歯科健診」を実施している。

資料8(4) - 1参照

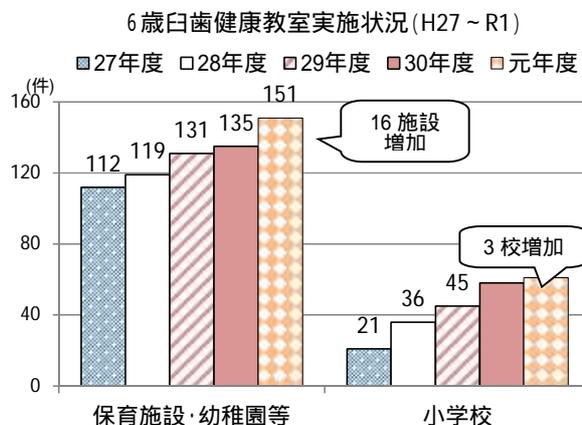
(4) 保育施設、幼稚園、小学校と連携した取り組み

ア 6歳臼歯健康教室実施施設数

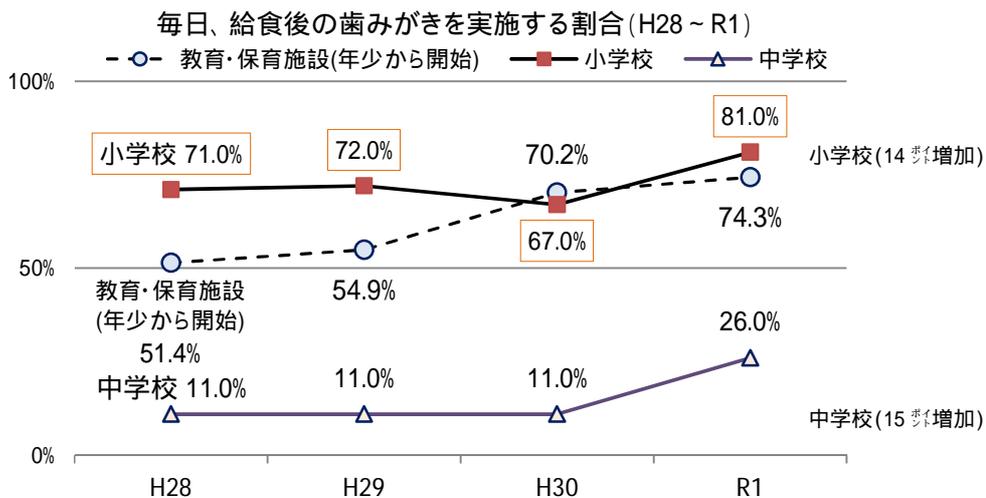
生え始めの永久歯(6歳臼歯)のむし歯予防のため、年長児・小学1年生を対象に、区歯科衛生士が「6歳臼歯健康教室」を実施している。

<実施施設数>

年度	教育・保育施設	小学校	合計
H27	112	21	133
H28	119	36	155
H29	131	45	176
H30	135	58	193
R1	151	61	212



イ 保育園、幼稚園、小中学校における「給食後の歯みがき」実施状況
歯みがき習慣が身につくよう年少児から継続的に進めている。



出典: 「糖尿病対策アクションプラン - 歯科口腔保健対策編 - 」R2年度実績報告より

ウ 永久歯フッ化物塗布事業(モデル事業)

永久歯のむし歯予防を推進するため、小学校9校(モデル校)において、小学1、2年生で学校歯科健康診断時に該当する児童の6歳臼歯に、保健センターの歯科衛生士がフッ化物塗布を行った。

	2017年度 (平成29年度)	2018年度 (平成30年度)		2019年度 (令和元年度)		2020年度 (令和2年度)
時期	秋	春	秋	春	秋	春
2017年度 小2		歯科健診 (評価)				
2017年度 小1				歯科健診 (評価)		
2018年度 小1						歯科健診 (評価)

<令和元年度実施状況>

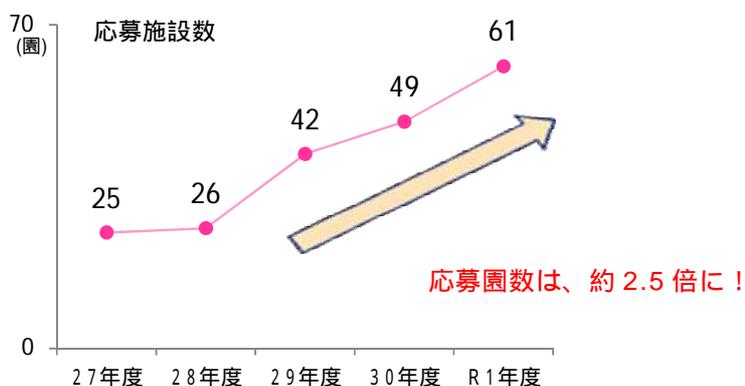
	令和元年春実施	令和元年秋実施
在籍者数	681名	684名
希望調査書提出者(率)	677名(99.4%)	684名(100%)
塗布希望者数(率)	553名(81.2%)	560名(81.9%)
塗布実施数	510名(74.9%)	524名(76.6%)

塗布を希望しない人数(秋実施) 124名

- (理由)・ 歯科医院で塗布している 102名(82.3%)
- ・ 効果がわからない 3名(2.4%)
 - ・ その他 13名(10.5%)
 - ・ 未記入 6名(4.8%)

エ あだちっ子・いい歯推進園表彰事業の実施

平成27年度から、「あだちっ子歯科健診後の受診(治療)勧奨」や「規則正しい食習慣・歯みがき習慣づくり」等に積極的に取り組んでいる幼稚園および保育園(所)を表彰し、優れた取り組みを広く区民等に紹介している。令和元年度は、応募園が12園増加し、61園となった。



表彰園	・ 区長賞	(区立 千住あずま保育園)
	・ 教育長賞	(私立 伊興すみれ保育園)
	・ 足立区歯科医師会長賞	(区立 大谷田第一保育園)
	・ 審査員特別賞	(私立 聖保育園)
	・ 優秀賞	1 2 園
	・ 奨励賞	4 5 園

(5) 家庭・関係機関職員の歯みがきスキル向上の取り組み

ア 仕上げみがき動画作成および動画啓発リーフレット配布

保護者等に仕上げみがきのポイントをわかりやすく伝えるため、「あだち版・仕上げみがき動画(2 種類・各約 1 分)」を作成し、教育・保育施設、保健センター等で啓発リーフレット(別添資料参照)を配布。

イ 「あだち版・子どもの歯みがきマニュアル(改訂版)」作成・配付

子どもたちが自ら歯の健康を守る力の育成を目指して、関係機関職員向けに、年齢・発育に合わせた歯みがき方法や食習慣等をわかりやすく提示した「あだち版・子どもの歯みがきマニュアル(改訂版)」を作成・配付。



「あだち版・子どもの歯みがきマニュアル(改訂版)」
保育施設・幼稚園・小中学校・歯科医師会・児童館等へ配付

2 令和 2 年度の主な取り組みについて

(1) 歯科健診データを活用した「子どもの歯の健康づくり」の推進

未処置のむし歯が多い子どもの後追い調査の実施

むし歯が 5 本以上で、すべてが未処置である子どもについて、各施設へ聞き取りし、必要に応じて子ども家庭部・衛生部の歯科衛生士等が園訪問を行い、状況確認及び個別指導等を行う。

むし歯の伸び率が高い施設の支援

令和元年度年長児の分析結果を基に、優先順位の高い施設を抽出し、「仕上げみがきや歯によいおやつの習慣」等、むし歯予防の取り組みを支援する。

仕上げみがき動画・子どもの歯みがきマニュアル(改訂版)の活用

子ども・保護者の「歯みがきスキルの向上」を目指し、「仕上げみがき動画」ならびに「関係機関向け歯みがきマニュアル(改訂版)」等の活用を、各施設へ積極的に働きかける。

	<p>(2) 定期学校歯科健康診断データとの分析を実施 定期学校歯科健康診断のデータ化に合わせて、乳歯と永久歯のむし歯の関 係について分析・検討を行う。</p>
--	--

第 1 回健康あだち 2 1 専門部会報告資料

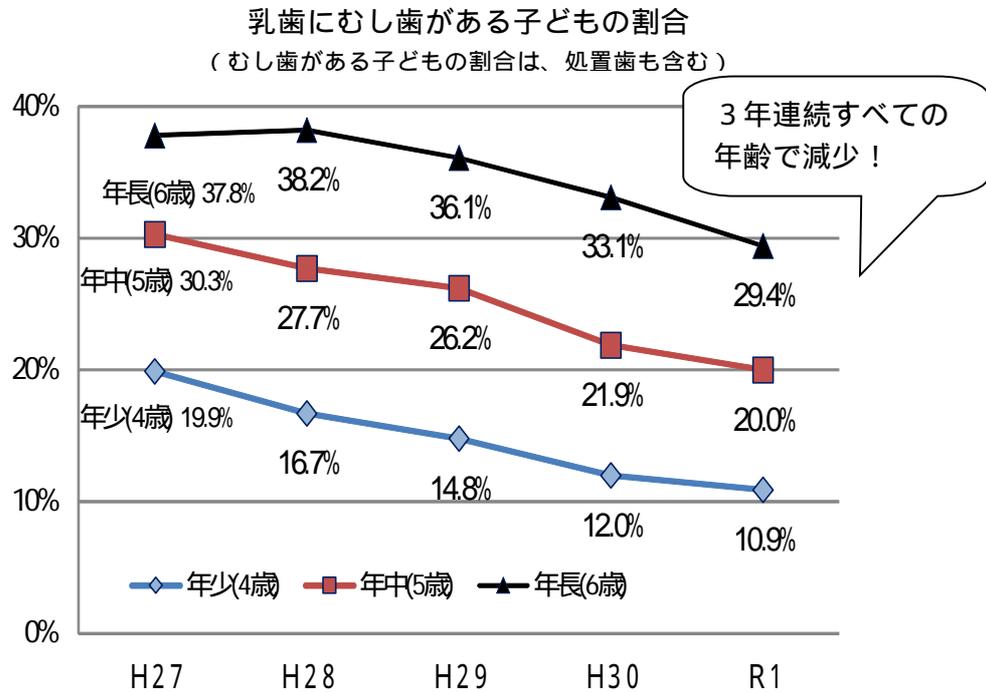
令和 2 年 7 月

件 名	令和元年度あだちっ子歯科健診の実施結果について
所管部課	子ども家庭部 子ども政策課、子ども施設運営課、子ども施設入園課 待機児対策室 子ども施設整備課 衛生部 データヘルス推進課
	<p>令和元年度あだちっ子歯科健診実施結果について、以下のとおり報告する。</p> <p>1 あだちっ子歯科健診の目的 足立区の子どもの歯・口腔の健康状態は、「未処置歯をもつ子の割合が多い」などの課題が多い状態である。 そこで、年少児(4歳)～年長児(6歳)が在籍する区内すべての教育・保育施設で、「統一基準の歯科健診」「ていねいな受診勧奨」「結果の集計・分析・フィードバック」をセットにした、あだちっ子歯科健診を実施し、むし歯予防および早期の治療、さらに子どもの貧困対策にも繋がる取り組みを進めている。</p> <p>2 対象者 通園の有無に関わらず、年少児(4歳)から年長児(6歳)全ての幼児を対象に実施した。 区内の保育施設、こども園、幼稚園においては、在籍する区外在住者も含めて実施している。</p> <p>3 実施施設 202施設(私立幼稚園、私立認定こども園、区立保育園、区立認定こども園、公設民営園、私立保育園、認証保育所)</p> <p>4 実施状況 詳細は、資料8(4)-1「令和元年度あだちっ子歯科健診実施結果報告書」(以下、「報告書」という)を参照。</p> <p>教育・保育施設等での受診状況【受診率、前年度比増加】 (報告書P1-図1参照)</p> <ul style="list-style-type: none"> 施設内健診の受診率は、99.4%(前年度比0.4ポイント増)。 未通園児等は、複数回勧奨を実施したことにより、受診率が14.3%(前年度比1.3ポイント増)に向上した。 教育・保育施設の参加率は、平成29年度から3年連続100%となっている。

5 歯科健診分析結果

あだちっ子歯科健診受診者のうち、区内在住児の結果は、以下のとおりであった。

- (1) 年齢別・乳歯にむし歯がある子どもの割合【年少児(4歳)～年長児(6歳)全ての年齢で減少】(報告書P2 - 図2参照)



- (2) 未処置のむし歯がある子どもの割合【前年度比、横ばい】
(報告書P2 - 図3参照)

平成27年度からみると全年齢で大きく減少したが、前年度比では、年少児(4歳)は横ばい、年中児(5歳)、年長児(6歳)は微減となっており、年長児で5本以上未処置のむし歯を保有している子どもは3.4%であった。

- (3) 5本以上未処置のむし歯がある子どもの割合【施設間の差が縮小】
(報告書P3 - 図4参照)

区立園では減少したが、5本以上むし歯がありながら未処置のままとしている世帯が、一定数存在していることがうかがえる。

- (4) 通園施設別むし歯有病率【施設種別または通園状況による差が縮小傾向】(報告書P4 - 図8参照)

依然として4歳(年少)以降、区立園に在籍した子どものむし歯有病率が高い。むし歯有病率は、処置歯も含む。

- (5) 同一の子どもの健診データをつなげての分析【新規】
(報告書P4 - 図7参照)

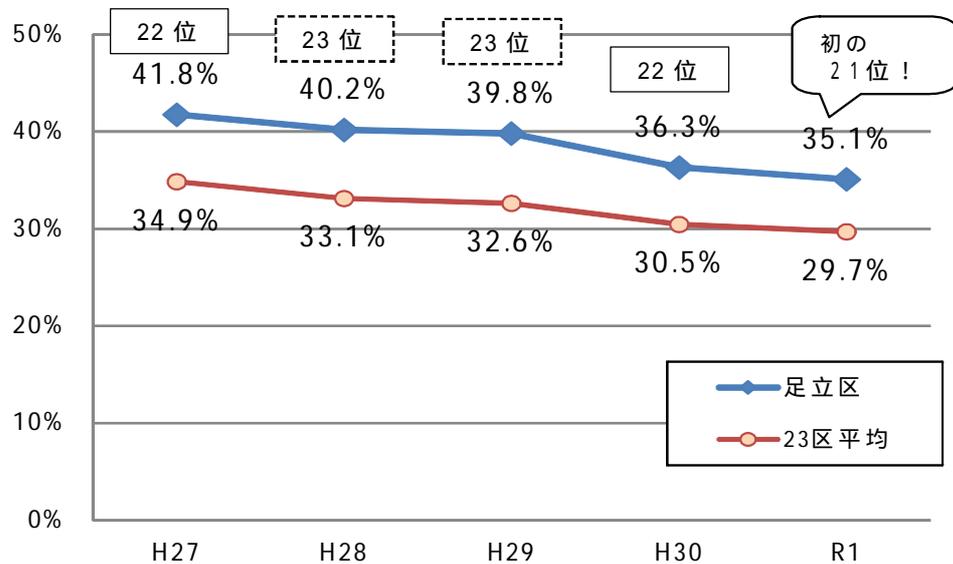
「平成30年度末年長児のあだちっ子歯科健診結果」と「令和元年度の定期学校歯科健康診断(小1)データ」を活用し、同一の子どもの結果をつなげて分析したところ、小1でむし歯有病率が低下しているグループがあった。

これは、前歯のむし歯が永久歯への生え変わりで抜けたことに加え、6歳以降、新たなむし歯をつくっていない子どもが増加していることによるものと考えられる。

(6) 小学1年生のむし歯がある子どもの割合【年々減少】

(報告書P5 - 図9参照)

令和元年度は、観測史上はじめて、特別区で21位となった。就学前のむし歯の状況の改善が起因していると考えられる。



むし歯がある子どもの割合は、処置歯も含む。

6 令和2年度の方向性

「むし歯がある子ども」「未処置のむし歯がある子ども」の割合が減少し、これまでの取り組みの成果が確実に認められる。

引き続き、子どもの健全な口腔内環境を維持していくために、下記のとおり対策を講じていく。

(1) 歯科健診データを活用した「子どもの歯の健康づくり」の推進

ア 未処置のむし歯が多い子どもの後追い調査の実施

イ むし歯の伸び率が高い施設の支援

ウ 仕上げみがき動画・子どもの歯みがきマニュアル(改訂版)の活用

(2) 未通園児の健診受診の推進

(3) 定期学校歯科健康診断データとの分析を実施

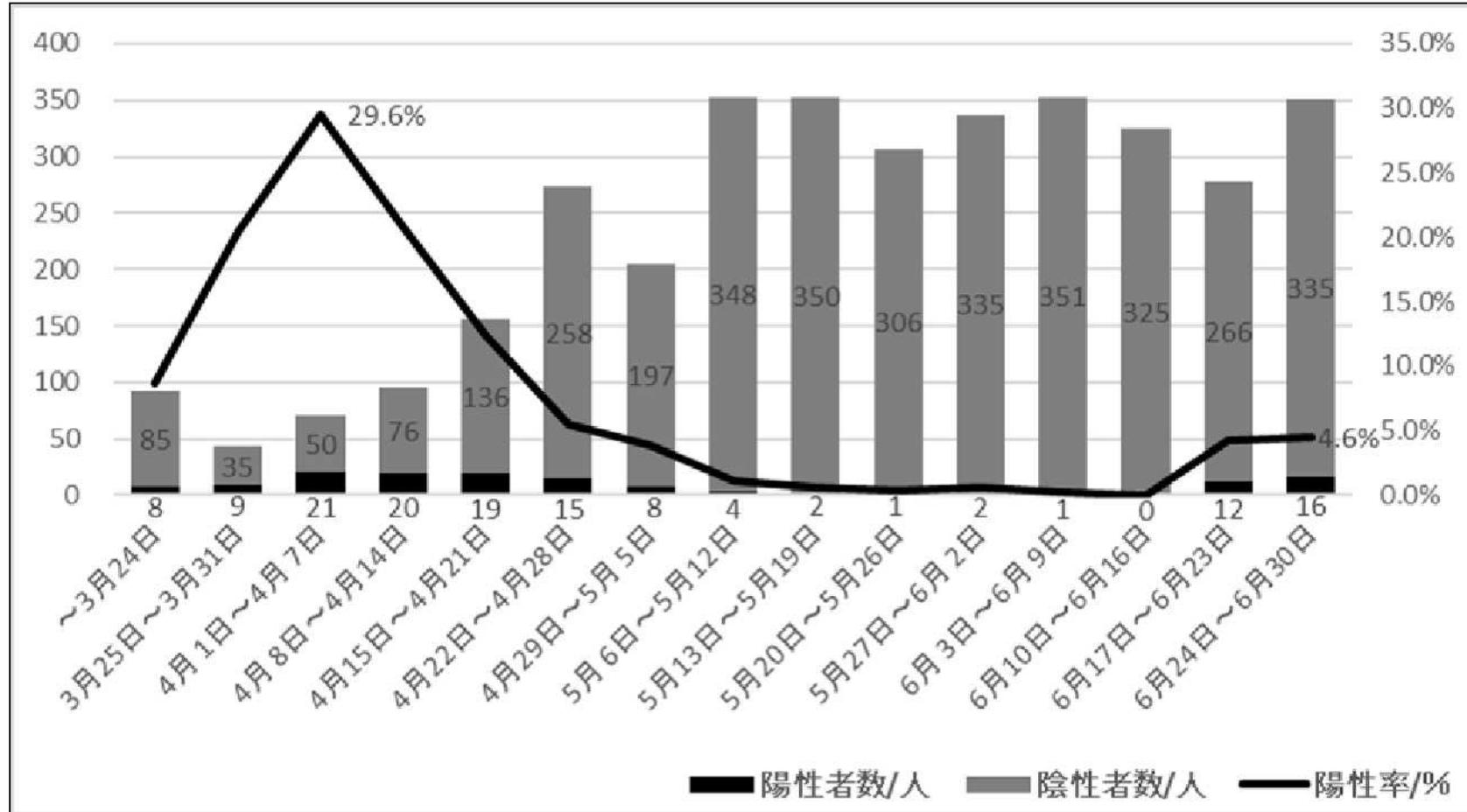
第 1 回健康あだち 2 1 専門部会報告資料

令和 2 年 7 月

件 名	足立区における新型コロナウイルス感染症発生状況について
所管部課	衛生部足立保健所感染症対策課
内 容	<p>世界的に流行する新型コロナウイルス感染症について、足立区においても令和 2 年 3 月以降発生件数が増加し、4 月から 5 月において最も多くの患者が確認されました。</p> <p>資料 9 - 1 のとおり、区内における患者の発生状況等について報告します。</p>

足立区における新型コロナウイルス感染症発生状況について

(1) 区内におけるPCR検査数と陽性率の推移(7月3日 午前10時現在)



(2) 週単位の区内感染者数及び累計 (7月3日 午前10時現在)

